大正九年十二月十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞
夕刊
八月二十八日

本紙定價　一部五錢　一ヶ月壹圓
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯局專用(3)三二〇五　營業局專用(3)三三二〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越内之介

精鋭部隊の上陸で上海共同租界平靜化

北部戰線悉く我が手中に

【東京國通】上海方面はわが空陸軍の猛擊で支那軍は漸次上海附近より撤退、共同租界は全く平靜化し戰闘は上海東部に移りわが精鋭部隊は二十七日○○に上陸行動を開始したので支那軍は狼狽増援中、北部戰線は張家口が二十七日わが軍の手に歸したゝめ北平同地間の平綏線は完全に確保され目下敗殘兵掃蕩中、津浦線方面も靜海城がわが手に歸し、わが空軍の爆擊により同方面の二十九軍は大混亂に陷つた

南北戰線愈よ我に有利

九度び南京を空襲
新設飛行場爆破

【上海廿七日發國通】海軍○○航空隊○○機は廿七日曉をついて南京上空に現れ第九次首都空襲を敢行した、南京城内外の飛行場は前後八回にわたる爆擊により完全に破壞され支那側は郊外の某地點に新飛行根據地を急造し上海空襲と防衞の飛行機基地としてゐたが、廿七日のわが空襲によりこれもまた完全に擊破された、その他廿七日の爆擊は南京警備司令部、兵工廠等で、敵の作戰根據地に甚大なる打擊を與へた、わが方の損害不明なるも極めて輕微の模樣である

【上海廿七日發國通】支那軍增援部隊の到着に對しわが航空隊は上海附近の京滬鐵路、滬杭甬鐵路一帶に猛烈な爆擊を加へた、ために廿七日午後一時半上海西北部滬杭甬鐵路停車場附近より火を發し同地一帶は大火災を起してゐる

【上海廿七日發國通】わが飛行隊は廿七日正午○機編隊をもつて閘北より大場鎭に通ずる公大自動車路一帶および民路沿線に大爆擊を敢行、同方面に集結中の敵に大損害を與へた

南翔、眞茹の後援隊を爆擊

【上海廿七日發國通】敵軍は前線の動搖防止のため南翔、眞茹方面に後援隊を集結しつゝある、わが○○機は午後二時より三時まで約一時間にわたりこれに果敢なる爆擊を加へた、これがため眞茹を中心とする一帶は紫色に爆煙の包むところとなつてゐるが、同方面の敵部隊は殲滅的打擊をうけつゝあるものゝ如くである

わが軍○○鎭占領に
敵、全線にわたり總退却

【上海廿七日發國通】わが軍に頑强な抵抗を續けてゐた敵の戰闘力も廿六日より全線に亘つて著しく減退し吳淞、楊樹浦方面に當つて敵軍は漸次總退却に轉じつゝある、右は揚子江岸の○○に上陸したわが部隊が、廿六日敵の後方連絡の要地たる○○鎭を確實に占領し、更に敵の後方深く突入して敵を包圍せんとする態勢をとつてゐるため、敵軍は全線に亘つて多大の脅威を感じ黃浦江左岸より揚子江岸劉河鎭に至る突出陣地にある部隊の總退却をなし戰線の統一を行ひつゝあるものと解される

眞茹無電臺潰滅

【上海廿七日發國通】戰線の動搖防止のため支那軍は南翔

三八二高地占領

地は良鄕西北敵の最大要地で、こゝ數日來の軍事行動はこの奪取により一段落、今後のわが軍の作戰行動は極めて有利に展開せん

【○○廿七日發國通至急報】わが軍は四時四十五分三八二高地を占領せり

【○○廿七日發國通至急報】三八二高地の戰闘におけるわが軍の戰死傷者なし

【○○廿七日發國通】わが軍は廿七日の戰闘をもつて乾里村西方の高地一帶を完全に占領せり

閑院總長宮殿下
内蒙軍に御祝電を寄せらる

【張北廿七日發國通】閑院總長宮殿下には蒙古軍の戰捷の報を聽かれ、廿七日植田軍司令官を通じ内蒙軍に對し察哈爾作戰に際し内蒙軍健闘の報を聽き欣快に堪へずとの意を傳達せしめられたが右殿下の祝意に對し内蒙全軍將士は感激の謝意を表してゐる

植田軍司令官
内蒙軍に感謝電

【張北廿七日發國通】植田軍司令官は今次關東軍察哈爾作戰に内蒙軍の協力多大なるをもつて廿七日午後六時○○の○○部隊を通じ感謝電を送つた

○○部隊
勇躍南方に進出

【上海廿七日發國通】揚子江下流○○○に上陸した○○部隊は、廿七日有力な後續部隊を得士氣大いに振ひ、目下南方○○に向ひ勇躍進出しつゝあり

鎭、眞茹方面に增援隊を集結しつゝあり、わが○機は廿七日午後二時より三時までの約一時間にわたりこれに果敢なる爆擊を加へ、眞茹無線臺を中心とする一帶は紫色の爆煙に包まれ砲火物凄く天に冲し眞茹無電臺は完全に潰滅したものゝ如くである

鳥居○隊
包圍さる

【上海○○にて二十七日發國通】午後五時五十分我海軍機四機は楊樹浦附近の敵陣爆擊中突如一機は故障を生じて千保路附近に不時着したので陸戰隊○○の鳥居○隊長以下の○隊がトラック二臺に分乘、危險を冒し救助に向つた處千保路附近の民家に待ち伏せてゐた敵の機關銃の掃射に遭ひ鳥居○隊長以下防戰に努めたが衆寡敵せず隊長を始め相當死傷者を出した、同隊坂本秀吉、熊野房夫の兩二等水兵、運轉手水地正己の三氏は敵の包圍を辛うじて脫して○○部隊に急報、同部隊は直に出動目下千保路附近の鳥居○隊に合せんとして激戰中、鳥居○隊長は二日前の傷未だ癒えぬ身を無理に退院前線に復歸したものである

海上遮斷對策
支那船外國に轉籍

【上海廿七日發國通】揚子江河口より東支那海一部にわたる日本の海面遮斷宣言對策として、支那側は自國船舶を續々外國籍に變更しつゝありと傳へられる

上海陸上交通線
一兩日中に確保せん

【上海廿七日發國通】揚子江下流の○○に上陸した○○部隊は、左翼方面○○に向ひ、廿六日夜來攻擊前進を開始した、上海方面との陸上交通線確保もこゝ一兩日中に完成する模樣

後任駐支英大使

【ロンドン廿七日發國通】英國政府はヒユーゲッセン大使の療養中前駐支大使館參事官アール・ジー・ハル氏をして大使の事務を代行せしむるに決し、ハル氏は政府の命をうけ廿七日渡支の途に就いた

日本軍に呼應
滿洲國軍奮戰
挺身隊の活躍目覺し

察哈爾國境方面に於て皇軍と呼應しつゝ活動中の滿洲國軍は漸次の戰闘に於て平素の訓練を遺憾なく發揚して奮闘中であるが、廿一日挺身隊を組織して大激戰を展開、給與半減の中にも意氣衝天で右詳報に關し治安部では廿八日午前十一時左の如き發表をした

滿洲國治安部發表

獨石口—赤城間に陣地を占領中の支那中央軍第八十四師の有力部隊は、逐次我が國境に緊迫するの情勢に鑑み我が○○枝隊長は速かに赤城東北方國境線の要點たる○○を確保するに決し、○○團を挺身隊として同地に急進せしむ、○○挺身隊は勇躍出動し八月廿一日拂曉所命の地點に到着するや約數百の敵我に向ひ前進中なるを知り斷乎之を邀擊するに決し要點を占領敵の近接を待ちて一擧に猛擊を加へたり、敵は衆を恃みて逐次包圍攻擊に移れるも我が軍は阿修羅の如く敵中に突入し、奮戰亂闘白兵戰を演ずること數次にして敵に徹底的大打擊を與へ之を潰亂せしめたり、この激戰に於て我が軍の將兵廿餘名戰死し、又相當の負傷を出せり、戰場に遺棄せる敵の死體のみにても數十を下らず

□

國軍○○枝隊は三旬の久しきに亘り人煙稀なる我が西南部國境に勇進し暴戾なる支那中央軍と相對して常に全線に徹底的膺懲を加へ國土の保全に邁進中なるも降りつゞく惡天候のため後方より補給圓滑を缺き目下給與を半減の狀態にあるも將兵よく困苦缺乏に堪へ一致團結して益々士氣を鼓舞して王道國軍の眞價を遺憾なく發揮しつゝあり

鹵獲品の數々

【張北廿七日發國通】廿七日午前○○部隊張家口入城に際し停車場附近において機關車四、貨車四十を鹵獲すると共に從業員四十名を逮捕した

【張北廿七日發國通】○○部隊の孔家庄占領に際し鹵獲せる兵器左の如し
小銃實砲六萬三千、輕迫擊砲彈三百八十、手榴彈六百廿四、ダムダム彈千五百、小銃六十二、重機關銃三、迫擊砲一門、その他靑龍刀銃劍多數
同部隊萬全占領に際し鹵獲せるもの
手榴彈百、小銃彈三千、輕迫擊砲彈三百四十七、地雷廿一、土工器具三千、その他軍服五百、粟二千石

人事往來

着京

▲出光計助氏（日滿商事）二十七日來京ヤマトホテル
▲衞藤美吉氏（同）同國都ホテル
▲南治之助氏（昭和製鋼所）同
▲細野重雄氏（滿鐵）同
▲西川虎吉氏（滿洲曹達）同
▲小原龜太郎氏（名古屋高等商業教授）同
▲平松明氏（土木業）同
▲山岸亭氏（日滿パルプ）同
▲二瓶等觀氏（敎師）同蓬萊ホテル
▲小西政太郎氏（會社員）同
▲井上齊治郎氏（同）同
▲永原岩雄氏（同）同
▲田中茂太郎氏（鑛山業）同
▲大杉京太郎氏（材木商）同
▲荒川海太郎氏（官吏）同
▲飯塚精明氏（東滿人絹パルプ）同
▲木村武一氏（會社員）同富士屋
▲川島壽正氏（同）同
▲稻村宗政氏（辯護士）同
▲友成達治氏（商業）同國際ホテル
▲宗像義人氏（官吏）同
▲淺田龜吉氏（鑛山業）同
▲井上九郎氏（官吏）同
▲今吉均氏（同）同
▲金本彥四郎氏（橫須賀市不入斗小學校長）同新京ホテル
▲常葉三俊氏（同不斗小學校長）同
▲手澤勇氏（富士電機）同愛國ホテル
▲淸水勇氏（同）同
▲山口俊太郎氏（官吏）同滿蒙旅館
▲諏訪德壽氏（會社員）同
▲石原次郎氏（官吏）二十七日來京帝都ホテル
▲稅所壯吉氏（交通會社）同

出發

▲金丸謙次郎氏　二十七日發ハルビンへ
▲大磯義男氏　同
▲染谷保藏氏　同奉天へ
▲梅津理氏　同
▲佐々木三九馬氏　同
▲岩崎榮二氏　同
▲江崎重吉氏　同
▲平石榮一郎氏　同錦州へ
▲小宮館男氏　同延吉へ
▲山東實氏　同
▲井上剛太郎氏　同吉林へ
▲田中籐作氏　同
▲松島親造氏　同
▲板倉總二郎氏　同双陽へ
▲山口富大郎氏　大連へ
▲竹下正二氏　同
▲河崎泉氏　同
▲謙田研兒氏　同
▲中川久之助氏　同
▲濱野良一氏　同
▲永田政生氏　同ハルビンへ

その日く

□
世界戰史に輝くべき長城の占領、いま日章旗飜つて長久の策も成らう

□
内蒙には奔騰する成吉思汗の後裔の熱血、亞細亞の新しい黎明を前奏する

□
靑島良い所と誰が言ふた、古い民歌に新しい意味を加へねばならなくなつた

□
模型飛行機展覽會開く、若い童心が科學の原理と結んでつくる成果が飛翔する

□
この國の新しき演劇活動、大同の名のもと、世界に誇れる舞台を目指して進め

白い天使（上演禁止）

林房雄作　吉田眞里畫

（七六）

浴室（四）

それに秀夫さいふ證事者まであらはれた。——じつさしてゐるわけにはいかない。なんでもいゝから早くたのしんでしまつて、その上でほうりだすなりなんなりしてしまひたい。

……男をしつたのち、きふに成熟して、魅力をます女も多いことだし、この際早くかたをつけてしまふことが、この道樂な標事に新生面をひらくことになるかもしれない。

そこで思ひついたのが旅行であつた。

郊外の離れ家で暴力をもちひるやうな、不手際なことはやりたくない。

旅にでれば、女の心は、自然とゝけるものだ。

山と溫泉と宰と白樺の林のあひだでは、娘はわれをわすれるにちがひない。

『今夜中に準備をとゝのへて明日の午前中に出發するがね……』

『でも、どこへ？……』

『そいつあ、こつちに一任しておくさ』

では、あすの朝、むかへにくるからといつて、田中は驟雨の中をかへつて行つた。

その同じ夜。

驟雨の音を聞きながら、部屋にこもつて、史子夫人は、本をよんでゐた。

本はトルストイの『復活』である。

ネフリユードフ公爵が、カチユーシヤにたいして犯した罪を、しみ〴〵と後悔し、身をもつて彼女を救ひださうと決心する條を胸にしめつけられるやうな氣持によみふけつてゐた。

秀夫にすゝめられて、このごろ讀書の習慣がついた。

はじめは二三ページもよむと頸がいたみだしたのだが、をふりかへつて、そのくだらなさにあきれかへつたり、これからさきのことを考へて、しみ〴〵となつたり。かうした氣持になることは、史子夫人にとつて、新らしい心の境地でもあり、また家を外にしてくらしてゐる放蕩な夫にたいして『若いやもめ』のやうなあきらめをもちはじめたこのごろの、好もしいなぐさめでもあつた。

今夜も、田中は家にかへらない。

部屋の鳩時計は、もう十一時をまはつてゐるのだが……

そこへ、女中が、來客をとりついだ。

福井がきたのださいふ。

夫人は眉をよせた。

いやで〴〵ならない男が、こんな時間にと思つたので、もう寢るところだからと、ことはらせると重大事件を報告するためにわざ〳〵參上したのだから、ぜひおめにかゝりたいといふ口上である。

仕方なく夫人は應接間に出た。

ちかごろは、だんだん讀書のたのしみがわかつてきたやうな氣がする。

むづかしいものをはじめから讀む必要はないから、なんでも好きなものを手あたりしだいに讀んでをれば、そのうちに道がひらけてくるだらうといはれたので、まづ小說からはじめたのだが、なるほど心をこめてよんでみると、小說といつても、なか〳〵ばかにならなかつた。

作者のするどい目によつてりだされてゐたり、またその人生の思ひがけぬ部分があたゝかい心ゆたかな知識によつて、深い解釋や正しい生き方が示されてゐたりする。

しらない間に、心がひろまり、心が高まり、自分の生活

空への觸手深し
出陳千三百餘點を得た
八島校の航空展開く

滿洲飛行協會新京支部主催、航空少年團飛行機模型及び自由畫展覽會は二十八日午前九時から八島小學校講堂で開催された

出陳千三百餘點いづれも航空少年團の手になる飛行機模型自由畫のみでその作品の一つ一つに現はれてゐる兒童の航空知識には將來に大きな力强さを感ぜしめられる、開場と共に日滿兒童生徒其他一般參觀人で會場は雜沓を極めてゐる、會期は三十日まで多數の參觀を歡迎すると(寫眞は會場入口のアーチと陳列作品の一部)

忠靈塔に御成り
司令部にて國都の全貌を御覽
今日の李鍵公殿下

國都に第一夜を明させられた李鍵公殿下には二十八日午前八時廿五分御宿舍ヤマトホテルを御發、隅御附武官を從へさせられ新京神社に御成り氏子總代の奉迎裡に植村神職の御先導にて神前に御參進親しく御參拜のうち忠靈塔に向はせられ護國の鬼と化した皇軍勇士の靈に對して懇ろに御參拜なされ、九時五分忠靈塔前御出發、直ちに軍司令部に成らせられ植田軍司令官の御說明にて伸びゆく國都の全貌を御覽遊ばされた、同九時五十分軍司令部御出發、南嶺に赴かせられ過ぐる滿洲事變當時の激戰を偲ばせられ同十一時四十分宮內府に御到着、皇帝陛下と親しく御對面のうち、午餐を御共にとらせられた(寫眞は忠靈塔前)

軍犬訓練競技を
中心に對時局對處の協議
軍犬協會役員會經過

非常時局に處する緊急重要事項に關する滿洲軍用犬協會新京支部の役員會議は二十七日午後六時から日滿軍人會館で開催された

出席者鄉支部長、源田副支部長、岡田訓練所長、佐土原常任幹事、關東、西尾兩幹事、評議員吉谷、高月、丸山、立石、岡本、池谷諸氏

高月、山內兩書記

等にて鄉支部長議長席に就き原案を逐條審議の結果登錄犬審査は九月十二日新京支部構內で行ふこと、品評會及び訓練競技は九月十九日(雨天の際は二十六日)大同公園で開催準備は常任幹事に一任、轉出異動役員補充の件は當分現狀維持、持越問題の顧問推薦の件は支部で調査の上常任幹事に一任にそれぞれ決定高月書記より十年度以降の事務報告あり終つて緊急協議に移り高月書記より皇軍と共に北支に出動し警備に傳令に第一線に在りて將兵に劣らぬ活躍をつづけてゐる軍用犬の慰問方法につき提案滿場異議なく贊成その實行具體案については更に調査研究の上決定することゝし高月評議員より軍用犬の徵發準備調査を提案滿場その趣旨に贊成な研究することとし午後十時過ぎ散會した

學術協會から
美術衝立を獻上
廿八日皇帝陛下に拜謁賜ふ
武部總長以下一同

日本學術協會第十三回大會が新京に於て開催されるに當り同會を代表して會長關東局總長武部六藏氏、九州帝大總長荒川博士、旅順工大學長野田博士、滿洲醫大學長松井博士、前滿洲國大陸科學院長直木博士、滿洲學術聯合代表貝瀨謹吾氏、東京帝大工學部長平賀博士、東北帝大總長本多博士、北海道帝大總長高岡博士九氏は廿八日午前十時三十分滿洲國皇帝陛下に拜謁を賜り同協會では本多博士の創案になる特殊鋼で製作された美術品衝立を御獻上申上げ陛下にはこれを御嘉納あらせられた

傷病兵慰問
國婦首都支部で

國防婦女會首都支部では二十九日午後一時から日鮮滿婦人陸軍病院を訪ね舞踊その他を行つて傷病勇士を慰問し慰問品を呈する

松岡總裁軍部へ

來京中の滿鐵總裁松岡洋右氏は二十八日午前關東軍を訪問し軍首腦部と重要會談を行つた

秋の清潔檢査
首都警察廳管下の分

首都警察廳衛生科では來る九月九日より左の日程により特別市一圓に亘つて秋季特別清潔檢査を實施することとなつた

▲寬城子警察署管內 九日—十二日
▲大經路警察署管內 十日—十二日
▲長通路警察署管內 十日—十三日
▲南關警察署管內 九日—十三日

眞心を包む 慰問袋
白襷姿も勇まし
國婦の奉仕
協力五千個を作成して

國防婦人會新京支部ではさきに北支の風雲急を遂げるとともに大量慰問袋を贈つたが更に滿洲國々境線確保のため皇軍、國軍が戰鬪を續けてゐるので將兵慰問のため國防婦女會と協力して慰問袋を募つてゐたが二十八日朝から東條夫人、星野夫人等百餘名が關東軍酒保階上兵士ホームに寄つて國防婦人の白襷姿も勇々しく集つた慰問品を袋に詰め五千個の慰問袋を造り上げて銃後の務めに懸命である

一萬三千餘圓に達す
飛行機獻納金
協和會募集第一次分
全國からの熱誠ぶり
銃後の赤誠續く

協和會の飛行機獻納金募集は全國各地から應募相つぎ第一次締切分は次の如く一萬三千餘圓に達した

五常縣 五七一、三〇圓
穆稜縣 五四二、五五
樺南縣 一五、五〇
方正縣 七四、三〇
綏化縣 一、〇〇〇、〇〇
農安縣 五四八、〇四
龍鎭縣 一、三〇三、三七
巴彥縣 六六、五四
首都本部 七、一七二、三〇
海城縣 一、三三九、二〇
奉天縣 三七九、〇〇
合計 一三、〇一二、五〇

なほこのうちには北安鎭の滿洲國小學生が草花を賣つて得た金、綏化縣の演劇同好者が演劇公演を行つて得た金等も含まれて居り、各所に時局認識行き亘れることを示す實證が報告され來つてゐる

强盗首犯
范逮捕
自宅に舞戾つた處 北大楡樹で

去る七月十九日午後十一時ごろ小合隆署管內東郭家窩堡屯門牌三號農劉連成(四十四)方が襲ひ拳銃を擬して馬二頭を强奪逃走した三人組强盗事件は同月二十三日小合隆署に於て共犯二名は逮捕されたが其後首として行方を晦ましてゐた主犯原籍吉林省住所農安縣第五正伏龍泉北大楡樹屯范大鐵(四十)については全滿に指名手配し極力搜査中のところ二十七日夜農安縣警務局の手により自宅に舞ひ戾つたところを逮捕した旨の通知があり身柄は一兩日中に首都警察廳に送還される筈

下田檢察官長

下田檢察官長は中里地方法院長とゝもに二十八日午前八時十分着列車で來京した

教育奬勵會
評議員會

新京教育奬勵會評議員會は三十日午後一時から滿鐵新京支社第一會議室で開催されるが議題は左の如くである

▲議題 1、役員更迭の件、會長田中弘之氏、評議員高山八十八、岸永喜三郎、江部易開三氏の補缺致度に付、2、奬勵金交付方に關する件、暑中休暇期間の奬勵金交付方決定致度に付
▲報告事項 1、奬勵金受入の件、2、奬勵金支出の件 3、其の他

配水管洗滌で
上下水道斷水
三十日から來月五日迄
毎日午後に二回宛

特別市公署では水道鐵管洗滌のため三十日から九月五日まで毎日午後一時から四時まで及び午後九時から十二時までの回日(雨天順延)左記の通り一時斷水することゝなつたなほ作業中及び洗滌完成直後は水が汚濁することがあるため少量づゝ放水の上使用されたいと

▲八月三十日西二馬路以北大經路西五馬路以北—大馬路以西—新發路以東▲八月卅一日大經路以東、西四馬路以北—大馬路以西—西五馬路以南に含まれる區域、▲九月一日北安路北安胡同以東、長春大街以北—北大街以西—西四馬路以南▲二日大馬路以東—東五馬路以北—興運路以西南▲三日東五馬路以南—大馬路以東—東三馬路以北長通路一帶▲四日東三馬路以南—南大街以東—南關以北▲五日長春大街以南—南十街以西

兵隊さんの
苦勞を偲ぶ
兒童の耐熱遠足南嶺行
意義深く昨日終る

新京室町小學校では時局に相應しい耐熱遠足を二十八日に催したが、菓子類の携行を一切禁ぜられた兒童たちは日の丸辨當だけぶら下げて午前八時までに集合して、八時半から出發

低學年は大同公園へ高學年は南嶺戰跡地に向ひ、滿洲事變當時の南嶺激戰を偲びつゝ勇士の靈を弔ひながら日の丸辨當を開き、今北支、上海一帶の前線で活動しつゝある皇軍の勞苦を忍びつゝ午後三時半歸校した

松花江舟遊會
坪上滿拓總裁の催しに
廿九日名士出發

坪上滿拓總裁は廿九日に滿拓公社創立委員五十餘名を吉林に招待し松花江上で鵜飼遊びその他舟遊會を催し、新京からは二十九日午前八時四十分列車で滿拓社員初め、滿洲國側の神吉、谷兩總務廳次長、松田、松木、古海各總務廳處長を始め日本側の澤田參事官三谷外務省條約局長その他五十餘名が出發、同日午後七時三十五分着列車で歸京の豫定である

暑休談話會盛會

錦ケ丘高等女學校では二十七日に生徒の夏季休暇中の作成品展覽會を催したが二十八日午後一時半からは「夏休み懐古談話會」を催し生徒、職員の盡きせぬ土產話しが交されて同四時盛會裡に閉會した

寺院と教會

▲日本基督教會一、日曜學校午前八時半一、聖書學校午前九時四十分一、朝の禮拜午前十時半說教「テテロ前書の教訓」石川牧師一、夕拜午前八時說教「キリスト教の來世觀」石川牧師
▲メソヂスト教會日曜學校午前九時一日、曜禮拜十時十五分說教「イラヤ書の中心思想」山口牧師一、夕拜午後八時讃美歌練習、傳道說教、山口牧師
▲救世軍日曜講壇 八月廿九日午前九時日曜學校午前十時半聖別會『神が生んだ人格』名越大尉午後八時半救靈會『非常時』救靈運動石田氏、來聽歡迎
▲新京組合教會八月二十九日(日)午前十時半禮拜說教『わが惠汝に足れり』京都同志社大學本宮教授同日午前九時より同所にて日曜學校あり(老松町普通學校前)

日出を拜す集ひ

日の出時刻は五時五十七分、西公園誠忠碑前にて市民早起會行事、終つて忠靈塔參拜

あす(二十九日)

▲少年團武運長久祈願祭、午前六時半、新京神社
▲軟式庭球選手權大會、午前九時、西公園コート
▲模型飛行機展覽會、八島小學校
▲ライカ寫眞展、ニッケ
▲秋季第二次競馬第四日
▲大同劇團公演第二夜、午後六時半、西廣場滿鐵俱樂部

「今晩の主なる演藝放送」
▲八・〇〇義太夫「戀女房染分手綱」(大阪)竹本伊達太夫▲八・四〇演劇三夜ラヂオドラマ「女ごころ」(東京)花柳章太郎外

第一線の將士へ捧ぐ
三口二百四十圓
廿八日杵屋勢七郎氏が同行し
和美、百々柳さん達が

長城線占領、敵前上陸など皇軍將士の果敢な奮戰振りに感激する國民銃後の熱誠は相踵ぐ慰問金品の寄託に依つて益す高潮してゐるが廿八日左の如き本社寄託があつた

▲市內室町三ノ三長唄師匠杵屋勢七郎氏は曙の和美、百々柳の兩姐さん同伴二十七日午前中本社を訪れ、三口二百四十圓の獻金手續きを委託した、內譯は杵屋勢七郎氏個人で國防獻金一百圓長唄囃好會として恤兵獻金一百圓、これは同所門下で組織されてゐるもの、又同じく同所門下で出來てゐる長唄明聲會として金四十圓を恤兵獻金、兩會を代表して和美、百々柳の兩姐さんが來られたもので杵屋師の語るところによれば時々行ふ長唄濕習の〃ゆかた會〃が去る二十二日開催の豫定であつたが時節柄遠慮してその費用に準備してあつた金を些少ながら皇軍に對する感謝の微意を表したいとの門下一同の總意によるものです云々

樂園の合唱
けふからの豐樂劇場

豐樂劇場二十八日よりの番組は左の如くPCL、パラマウント作品を配した三本立編成である

▽PCL「樂園の合唱」東寶系スターの顔見せ映畫で藤井貢、丸山定夫、岸井明大川平八郎、佐伯秀雄、御橋公、小林重四郎、入江たか子、高田稔、岡讓二、竹久千惠子、山縣直代、堤眞佐子、江戸川蘭子、霧立のぼる、古川綠波、榎本健一横山エンタツ、花菱アチヤコ、永田キング等以下オールスターキヤストが百萬圓の財寶をめぐつて立替り入れ替り登場して總花の賑ひを展げる、大谷俊夫が演出に當つてゐる

▽同「ちやつきり金太後篇」第三話「歸りは怖、の卷」第四話「まてば日和の卷」を收めた山本嘉次郎監督作品、Gメンの倉吉の監視をうけつゝ旅を續ける掏摸の金太、大井川の河止めでとんだ災難に遭つた後をうけて東海道を背景にお笑ひの無軌道物語りが續く、前篇同樣エノケンの他に二村定一、柳田貞一、中村是好、如月寛多、宏川光子、花島喜世子、山縣直代、椿澄枝宮野照子等が出演

▽パラマウント「第二の女」

新しき土
けふからの新京キネマ

新京キネマ廿八日よりの番組は左の三本立である

▽「新しき土」獨逸版　アーノルド・ファンク博士の編輯になる作品で、伊丹萬作が監修した國際版より數等優れた出來榮えを示し獨逸においてもこの映畫に對する批評は惡いものではなかつたと報ぜられてゐる、原節子も歸へつて來たところだしこんなきつかけをとらへて再び銀幕にのせてみるのも意義のあることであらう、原節子、早川雪州、小杉勇、英百合子、高木永二市川春代、中村吉次、ルート・エヴエラー主演

▽他に神風號の記錄を收めた「征空一萬五千粁」と八丈島の風景と生活を描いた小唄映畫「八丈舟唄」ニユース短篇

戀山彦後篇

▽▽戀山彦後篇△△日活京都作品、前篇「風雲の卷」に次ぐ後篇「怒濤の卷」前篇同樣比佐芳武のシナリオによりマキノ正博が監督に當る、阪東妻三郎主演の他に尾上菊太郎、大城龍太郎、澤村國太郎、河部五郎、市川百々之助、市川正二郎、○洞子、深川波津子、櫻木梅子、香川良介、久米讓、花柳小菊沖津麗子等豪華キヤストの助演、江戸に乘り込んだ伊那一族が奮然蹶起して捲き起す江戸城驚天動地の大騷動、果してどんな結末をみせるか、新京キネマ九月一日封切

大同劇團
きのふ發會式

新京に於ける日滿各新劇團體を綜合して結成された大同劇團では二十七日午後六時半から協和會館で發會式を擧行した、日滿國旗への敬禮、兩國國歌合唱、建國殉職者に對する默禱を行つて劇團創立經過報告あり各方面代表の祝辭、祝電披露、劇團代表者挨拶の後日滿兩帝國の萬歳、同劇團の萬歳を三唱し八時散會したなほ同劇團第一回公演は愈よ二十八日から三日間（毎夕六時半より）西廣場滿鐵社員倶樂部で行はれる、上演脚本は本紙學藝欄既揭の「王屬官」「北支事變」及び滿語劇「建國史斷片」である

メトロ社の超特作映畫
大地
近日封切
主演　ポール・ムニ、ルイズ・レーナー
南部キネマ

新興が倭冦主材に時代劇作成

新興京都撮影所では時代同の立場から時局を反映する映畫を製作せんとする意圖を有し頃日來案を練つてゐたところ史實に明かな倭冦を主材として『南京攻略八幡船隊』を製作することに決定した、原案岸白耕、脚本三室戸寛二、監督押本七之輔、主演大谷日出夫ほかオールスター・キヤストで準備を急ぎ近日撮影開始の筈

『地熱』映畫化

PCL文藝課專屬三好十郎氏が中央公論發表して近來の傑作戲曲といはれた『地熱』はPCLが獨占映畫する事となり、瀧澤英輔監督の次回作として準備に着手した

さぼてん

扇芳會館のダンサー大畑クンは大連當時からの古顔で母親一人を扶けてステップを踏んでゐるが▲時には隨分醉つてフラ／＼ダンスをやり乍ら『洋酒を少し飲むと身體の具合がトテモ良いのよ』と殊勝らしい事をいふ▲朗かさうに見えるダンサーの生活にも矢張り悩みはあるらしい▲長らくお馴染みのジャズシンガー須美鮎子さんは今月限り一たんこゝをやめて東京のレコード會社に入社し更に聲樂修業を積んで再度磨きのかゝつた美聲を當ホールに現すさうです▲チヤーミングな美聲を誇る鮎子さんを聞くのも精々今のうちです▲千鳥の文龍クンと小太郎クンとはシンの姉妹である、どうしたせいか一寸みると余り似てゐないが文龍クンは姉さんだけに彼氏を待つときは小太郎クンのやうに電話などかけずイトしとやかに左り手の指にコヨリの指環をして座敷に出てゐる▲先日御紹介の菊次クンと小菊タンの姉妹藝妓と好一對である

雑音

豐劇寫眞替り「樂園の合唱」と「ちやつきり金太」の後篇、せい／＼賑やかなところだけが取り得である▼新キネは「新しき土ファンク版」の再登場、記錄映畫と小唄ものを組んだ異色番組であるがこれはこゝのお客にこのまゝ向くかどうか、それにしてもこの「新しき土伊丹版」の封切における豐劇の新しき記錄が想出される、あゝいふ素晴らしい出來事があるんだから興行の味は忘れられないといふのだらう▼大同劇團いよいよけふから開演、不振なこの土地の演劇運動への良き刺戟となり、しつかり地に根を下す礎石となることを望んでやまない

日曜　戊子　赤口　定　虚宿
八月廿九日　舊七月廿四日

●一白の人　計畫半ばに頓挫あらんとす始めを愼めば吉　乙と丁と申が吉
●二黒の人　業務次第に繁榮すれど飼犬に咬まる恐あり　庚と壬と丑が吉
●三碧の人　伸びし枝葉も萎るべし根元よりの培養專一　丙と丁と申が吉
●四綠の人　禅のさし樣にて小舟も自由ならず練磨肝要　甲と乙と丙が吉
●五黄の人　影の形に添ふ如く油斷すれば邪鬼に襲はる　庚と癸と艮が吉
●六白の人　急進を愼み大望を戒め定業に精勤すれば吉　丁と辛と壬が吉
●七赤の人　禮義と柔和を旨とし人に交り事に當れば吉　辛と子と癸が吉
●八白の人　雄圖大に成るべき幸運の日普請轉宅開業吉　庚と壬と丑が吉
●九紫の人　諸事進まんより退守が安全他の援助を蒙る　乙と申と辛が吉

滿洲拓植公社設立委員會開催

直ちに認可を申請

滿洲拓植公社設立委員會は二十七日午前十時より日滿軍人會館で開催

一、株式割當の件（日滿政府各一千五百萬圓、滿鐵一千萬圓、東拓三百五十萬圓、三井、三菱各三百五十萬圓、住友百五十萬圓）

一、創立總會招集の件（八月三十一日午前十時日滿軍人會館において開催）

ほか五件を決定、直ちに日滿兩國政府へ認可および許可申請の手續きをとつた、兩三日中には商工省に正式屆出の手續をなす筈である

棉花清算取引根本的改革へ

大藏、商工兩當局折衝中

【東京國通】大藏省では豫て紡績業者より輸入棉花の許可制限問題に關し陳情を受け數日來當業者側より提出した棉花輸入數量および國内ストックの合理的な配分に關する意見を研究し同時に政府としての棉花輸入對策を考究中であるが、大藏省としては棉花の輸入そのものについては目下增大しつゝある軍事關係資材の輸入を考慮してなるべく右輸入許可を制限し、現在の棉花ストックの合理的な融通を妥當としてゐるが、さらに目下の棉花問題に對する根本的對策としては國内棉花の不當騰貴およびしば〳〵綿製品輸出の支障をなしてゐる棉花清算取引を根本的に改革する必要を認め、これに關し商工省側と具體的折衝を行つてゐる

大藏省側の意向としては清算取引市場における棉花相場を運賃保險料および手數料を加へて國際相場にすることが目的で、これがため棉花清算取引の廢止引市場の統制と改革が考慮されてゐる、從つて右に關し商工省側との意見が一致すれば遠からず棉花清算取引の廢止に近い根本的市場改革が實現されるものとみられる

この問題につき對策考究中で商工省に對し二、三の案を提示し諒解を求めてゐるか、結局九月一日新甫の來年三月限以降の棉花清算取引を一時停止することゝなつた模樣で、

三品市場の

棉花先物取引一時停止せん

【大阪國通】三品市場における棉花相場の暴騰は思惑的煽揚によるもので正常な商談を阻害するとの見地から大藏省當局は棉花取引の一時停止につき商工省と折衝中であるが三品市場當事者間にあつても

日滿兩國の

工業鹽增産へ

アルカリ工業の基礎原料たる工業鹽の增産計畫については既に昨年末大藏省專賣局に於いて增産五ヶ年計畫を作成、主として近海鹽百萬瓲の增産を計畫したがその後に於ける曹達、硝子工業を始め纖維工業方面の需要が激增し本年末の工業鹽移輸入高は百五十萬瓲を推定されるに至つたので專賣局では近海鹽業協會及び曹達懇話會と聯絡を取り遂に昨年末の五ヶ年計畫を放棄して新事態に對應する五ヶ年增産計畫を改めて樹立することになつた、右五ヶ年計畫は關東州五十萬キロトン、滿洲四十萬キロトン、長蘆鹽六十萬キロトン、山東省五十萬キロトンの合計二百萬キロトン增産を目標とするもので右により國内需要の約八割の自給を確保せんとするものである、なほ滿洲國産業五ヶ年計畫の重要部門をなす工業鹽の增産は一ヶ年八十萬キロトンと決定されたがその後日滿兩國で不足を叫ばれ一方錦州省一帶に優秀な鹽田候補地の發見を見たので更に增産を期することとなり五ヶ年後の年産九十一萬キロトン（内五十萬キロトンは日本へ輸出）九年後の年産額を百四十萬キロトンに增産の具體案を決定した

日本經濟聯盟

時局對策委員會を設置

【東京國通】日本經濟聯盟委員會では廿七日午前緊急常務理事會を開き鄕會長はじめ井坂、磯村、串田、大久保、南條、藤原、根津その他各常務理事ならびに結城、中野、森の諸氏出席の上、政府の戰時經濟立法に對應すべき財界の非常時對策につき協議した結果、既報の通り時局對策委員會を設置することに決定、委員として鄕男をはじめ十三名を選任臨時議會後に第一回委員會を開催して具體的運動方法ならびに對策を協議することゝなつた

全購聯、豆粕に代へ蘇子油粕を奬勵

滿洲産蘇子粕の輸出增大せん

全購聯は豫てより大豆粕を比較的割高肥料と見做し、管下組合配給品中單獨肥料或は配合肥料として大豆粕を漸次無機質肥料又は他の安價なる有機質肥料をもつて代替すべく計畫中であつたが、今回需要者側の要望に應じ蘇子油粕を代用せる配合肥料を配給することに決定した、蘇子油粕を大豆粕に置換せんとする理由は

一、蘇子油粕は成分含有割合肥効共に大豆粕に近似すること

二、蘇子油粕は大豆粕に比し遙かに經濟的なること

三、蘇子油粕は大豆粕に比し配合作業簡單なる故配合肥料の配給を圓滑にし易きこと

殊に爲替管理令の運用により滿洲國以外よりの植物油の輸入が不如意となり勢ひ滿洲國生産品によらねばならぬ事情はかゝる傾向に一段の拍車をかけたものとみられる、なほ蘇子油粕を全購聯が配給し始めたのはこゝ一、二年で昭和十一年肥料年度における蘇子油粕總量は約六千瓲で、本年度蘇子油粕の配給豫定一萬瓲餘中肥料として使用されるもの約八千餘瓲と推定されるがかくの如く全購聯の積極的奬勵の結果は今後一層滿洲産蘇子油の配合肥料となるものの增加を來すものとみられ、支那桐油の代替物としての滿洲産蘇子の輸出增進とゝもに注目されてゐる

株式市場の惡材料

資金難の壓迫

銀行の投資金融抑制響く

最近に於ける日本の株式市場は半ば恐慌狀態を呈してゐる暴落した株式は單に紡績株だけでなく軍需株にも及び全面的であるところから見ても事變の擴大が全經濟を壓迫するに至つたことが知られる、八月第一週では先づ增税といふ形になつて株界を惡化した、尤も今回の特別税だけならばさして恐るゝに足りない、株價の採算からすると相場は下げ過ぎであつた、市場では事變の擴大に伴ふ今後の再增税を懸念したものであらう、特別議會に於ける藏相の答辯より推しても通常議會には根本的な增税案が提出される模樣である、その場合利得の多い、事變の擴大だけからすれば、軍需株は時局株として寧ろ騰貴して好いものが最近軒並みに暴落してゐるのも理由の一つは此の邊にあるのであらう、併し再增税の程度は今後の事變の發展、それによる事變費の膨脹の程度によつて違ふ、從つて實際の增税の影響は今後の推移を見なければならない、ところが事變の擴大が現實に株界を壓迫してゐるものがある、それは株式金融の梗塞である、最近の暴落は寧ろ此の點にあるであらう事實、銀行は事變解決の見透しが困難なので株式への投資金融の抑制をしてゐる傾向がある、これも資金を預つてゐる銀行としては一應當然の事であるが投資家としては苦痛である、事變の擴大そのものには大して驚かず株式を持續しやうと思つてもこれが資金に不足しては、戰爭の場合實彈が不足するのと同樣である殊に月末に近づいて益々株式金融が梗塞すると受渡資本金の流通に支障を來し、株界を一層惡化せしめる危險がある當面最も惡材料となつてゐるのはこの資金難の壓迫である

特別課税の暗示するもの

ロ……戰時体制への强行軍

北支事件特別税に就て、人々は大して關心を持つてゐない樣に見受けられる、全くの國防獻金程度の輕い負擔である事と、全くの臨時的なものである事とが、大した關心を呼ばない理由であるらしい

五億圓を越える事件費に對して、一億圓の增税は、確かに輕い負擔であるに相違ない、

然しそれは事變費と比較してのみ云へる事の樣に思はれる臨時租税增徴法の實施前迄、總租税收入僅かに九億二千三百萬圓（十二年度豫算）であつた事實に徴すると、一億圓の增税は決してさう輕い負擔ではないのである、臨時增徴法による增税額も二億七千萬圓に過ぎなかつたのであるから、その三割以上にも相當する增税に對する無關心は、恐らく、準戰時體制的統制の强化、若しくは準戰時體制より戰時體制的統制への

移行の

内容が、問題なのであつて、當面の一億の增税の如きものゝ數でもたいと云ふ譯からであらう、然し增税が統制强化の最も核心的な一環をなすものである事は、改めて説く迄もない、增税による國民所得の政府消費への動員は最も端的に自由經濟の歪曲を結果する、增税による一般消費の節減、政府消費の增大こそ取りも直ほさず戰時經濟的歪曲に外ならない、斯る意味合ひからすれば、特別税の課税方針は、來る可き統制强化の具體的內容の全貌を暗示すべき一斑として、嚴密な檢討を要するもの、樣に思はれる

特別税

の課税方針として先づ注目される點は、利子所得の優遇である、第一種所得特別税は一割を、第三種所得特別税は七分五厘を課税されてゐるに對し、第二種所得税は五分を課せられるに過ぎず、… 本利子税は全く課税を免れてゐる、第二に注目すべき點は國債利子の優遇である、勿論臨時租税增徴法に於ても國債は二十割の增税を蒙つた、然し税率そのものは、諸他の利子收入に比べると、從前の優遇を受けて居り、社債利子や預金利子に比べると五%方優遇を加算されてゐる然しこの國債利子優遇が特別税にあつては更に一段と…

地方債

社債預…通じて…一年に第二種所得特別税が…せられてゐるに對し、國債…けが免税されてゐる點は…ゐ恐らくのである、第三は利子配當に對する特別税…る、これが低率利子配當の主旨に出たものであるは想像に難くはない、特別…

商況欄

（九月三十八日前場）

海外經濟電報

七月中に於ける特産取引狀況

特産中央會調査による本年度七月分特産取引狀況左の如し

△七月末大豆、豆粕、豆油庫高（單位瓲）

（大連、營口、安東、北滿各驛松花江、北鮮三港、合計ほか　数値判読困難）

各地株式市況

▲東京株式（短期）　▲大阪株式（短期）　▲大連株式（短期）　▲奉天株式（短期）

各地商品市況

▲大阪棉糸　▲大阪棉花　▲大阪人絹

各地特産市況

▲新京（一石値段）　▲大連

▲阪神日米爲替　▲阪神日英爲替　▲滿洲中銀爲替

上海向 九五弗五〇仙　天津向 九五弗五〇仙　靑島向 二九弗八分一　倫敦向 一志二片〇〇〇

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵稅 一ヶ月拾五錢 廣告料金 普通 一行壹圓五拾錢 特別 一行貳圓五拾錢

發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話 編輯局專用(3)二三〇五 營業局專用(3)三二〇五

發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越內之介

關東軍部隊破竹の勢で進擊

察哈爾平野を席卷す

支那軍の作戰根底から覆る

【天津廿八日發國通】關東軍〇〇部隊は廿七日午前十一時張家口に入城、同時に破竹の勢ひをもつて察哈爾平野に進擊しつゝある〇〇、〇〇、〇〇の各部隊の主力は同廿七日正午頃懷來縣に入城した、一方平綏線を攻擊せる〇〇、〇〇の兩部隊は昨夕刻康莊、延慶に入城附近の殘敵を掃蕩しつゝあり、わが空軍は大同および蔚縣方面に潰走しつゝある敵兵を追擊果敢な爆擊を加へ之に多大の損害を與へた、下花園にあつた湯恩伯總指揮の察哈爾作戰本部は今や完全に破壞支那軍の察哈爾省進出は根底から挫折するに至つた

【〇〇廿八日發國通】支那駐屯軍司令部午前十時發表=懷來平地に進出し隨所に敗走する敵を壓倒しつゝありしわが〇〇部隊は、廿七日確實に懷來を占據し關東軍〇〇部隊の張家口入城と呼應し敵の察哈爾侵入企圖を完全に挫折せしめたり

遙かに敵軍を望んで(火焰をふく敵陣地)

楊頭崗占據

【天津廿八日發國通】わが〇〇部隊は廿七日楊頭崗(良鄉西方三里)の北方高地を空軍部隊の緊密なる協力を得て占據したが、之により坨里村西方高地全部はわが手に歸した

華石片一帶占據

【〇〇廿八日發國通】草船村方面より山間の隘路を縫ふて南進を續けてゐた羽取枝隊は、廿八日朝來琉璃河北岸の華石片一帶の敵を攻擊、同地を確實に占據した

【〇〇廿八日發國通】華石片占領でわが軍は完全に敵を琉璃河右岸に潰走せしめた、敵は華石片對岸高地一帶に陣地を構築中なるも、その東方隘路を距てた高地は既に廿七日の三八二高地占領により完全にわが軍の手中に歸し早くも浮足立つてゐる

"後にさがると銃殺 仕方なく射擊"

支那捕虜兵軍隊生活を呪訴

【〇〇にて廿八日國通特派員發】廿七日〇〇部隊本部に前線から中央軍の若い捕虜一名が連行されて來た、一見したところ廿歳前後顔の眞黒な青年でカーキ色の上衣に同じ色の半袖シャツ、ゲートルに布製の靴といふ扮裝で彈を入れたベルトを襷にかけ防毒マスクを持つてゐる、飯盒の中を見ると飯粒は一粒もなくぎつしりと彈が詰つてゐる、記者はこの捕虜に對し通譯を介して左の一問一答をなした

問 どうして日本軍に捕まつたのだ

答 日本の飛行機が來襲して皆が逃走した時自分はうろうろして逃遲れて捕まつた

問 お前の原籍は?

答 河南省です

問 何をしてゐた

答 百姓です

問 どうして兵隊になつた?

答 故郷で百姓をしてゐると徴發されました

問 兵隊になつてから長いのか

答 一ヶ月程にしかなりませんので鐵砲の射ち方を每日訓練されてゐました

問 中央軍は兵を強制徴發するのか?

答 以前はしなかつたのですが最近は兵が不足なので各町村に人數を指定して保安隊長が徴發に來るのです、それを斷はると銃殺に處せられます

問 お前の所屬部隊は?

答 自分は王振の第八十四團の第三連で旅長、師長の名は知りません

問 同部隊は近代裝備を持つてゐるか

答 一團には迫擊砲隊があります、野砲、山砲も後方から配備されつゝありますが飛行機はありません

問 後方の狀況は如何

答 後方からは部隊の彈藥、食糧などを列車で輸送して來ます、同列車は日によつては十數列車も北上してゐました

問 お前達の食物は何か

答 每日うどんで時には米も食べます

問 お前達は何のために戰爭してゐるか知つてゐるか

答 何も判らずに戰爭してゐます、後に退ると督戰隊がゐて銃殺されます、中隊長、小隊長、分隊長も銃殺權を持つてゐるので仕方なく彈を射ち續けてゐました

問 今の氣持はどうか

答 故鄉には五人の家族が待つてゐます、早く歸つて平和に暮したい、何とかして助かる法はないでせうか

と支那軍隊の生活を呪訴し捕虜の身を忘れて日本軍の恩愛に取縋るのだつた

濱田大尉戰死

【八達嶺廿八日發國通】居庸關東側高地の戰鬪において步兵大尉濱田義一氏は壯烈な戰死を遂げた

蔚縣方面退却の敵に 大爆擊敢行

【天津廿八日發國通】わが軍の懷來附近への進出により附近の敵は算を亂して退却中であるが、張家口方面への途を絶たれたのでやむを得ず蔚縣方面に向つて退却中である、わが軍はこれに對して果敢なる爆擊を敢行徹底的打擊を與へた

浦東、江南造船所一帶に

虱つぶしの爆擊敢行

【上海廿八日發國通】わが海軍〇隊は二十八日午後零時半より浦東上空に勇姿を現はし旋回飛行をなしつゝ敵の集團部隊を發見、敵を虱潰しに果敢な爆擊を敢行、敵の根據地原地たる趙家屯、張家樓鎭、六里橋鎭方面に爆彈多數投下、敵軍に殲滅的打擊を與へたが、午後二時十分に至るもなほ爆擊中である

【上海廿八日發國通】わが航空機〇〇機は廿八日午後二時四十分見事なる編隊をもつて上海南市上空に飛來、〇〇機の果敢なる掩護の下に江南造船所一帶の支那軍々事要地を爆擊し多大の損害を與へた

南停車場に我が爆彈命中

【上海廿八日發國通】廿八日午後わが飛行機の集中爆擊により上海南停車場に多數の爆彈見事に命中、驛構內にあつた多數の支那兵は倉庫及び驛構內貨車に充滿してゐた軍需品と共に木つ葉微塵となつた、支那側の報道によれば、これがため死者三百名、負傷者二百名を出したと傳へてゐる、曩に北停車場がわが爆擊に潰滅して以來南停車場は支那軍增援部隊の到着の本據となつてゐたものだが、驛構內は完全に粉碎され二百ヤードの鐵路は跡形もなく吹き飛ばされ、軍用停車場としての機能は完全に喪失した

敵空軍戰鬪力喪失

【上海廿八日發國通】二十六日以來敵飛行機は連日にわたり夜更けてより上海上空に飛來夜襲を試み、二十七日夜も十一時半頃再び來襲、閘北の味方陣地に燒夷彈を誤つて投下し飛去つたが、從來の如く有力なる編隊空軍の來襲は殆どみられなくなりいづれも一、二機の偵察機または爆擊機をもつて行はれるに過ぎず、わが空軍の連日にわたる敵飛行機基地爆擊により敵空軍は徹底的打擊を蒙り最早航空部隊としての力を喪失しあり、最期の足掻きをみせてゐるに過ぎない

殷行鎭を占領

【上海廿八 發國通】廿八日午前十一時軍報道部發表=廿七日朝來〇〇部隊は殷行鎭の敵を砲擊し午前十一時同地を占領せり、同地附近にありし敵は算を亂して退却、わが方は〇〇砲をもつて猛烈なる砲擊を行ふとゝもに黄浦江上にありしわが艦隊もまた猛烈なる砲擊を加へ敵に多大の損害を與へたり

高木大尉戰死

【上海廿八日發國通】廿五日朝〇〇〇攻略白兵戰で高木大尉は部下將士と共に敵陣地中に斬込み壯烈な戰死を遂げた

無敵陸軍堂々進擊

二萬の敵主力を蹴散す

【上海廿八日發國通】〇〇から二十三日午前四時敵前上陸したわが無敵陸軍の〇〇部隊は本陣を敷いて待伏せてゐた約二萬の敵主力部隊の迫擊砲機關銃の十字火を潜りつゝ所定の線に沿ふて堂々進擊をなし、二十七日〇〇附近にて猛烈な白兵戰を演じ一齊に突擊遂に〇〇〇を確保一部はなほ〇〇に向け進擊中、この戰鬪におけるわが方の死傷は僅かに百に足らず敵は至るところに無數の死體を殘して〇〇および〇〇第二陣に後退中

各所で夜襲の敵を反擊

【上海廿八日發國通】上海東部戰線の敵は廿七日午後十時楊樹浦界華紡東北に向つて攻擊し來つたが、わが反擊に遭ひ潰走、さらに吳淞方面の敵敗殘兵約一箇分隊は廿八日未明滬江大學東北約二百米の地點まで進擊し來り同じくわが軍の猛射を浴び逃走した、なほ廿七日夜敵は黄浦江上のわが艦船に空爆を行つたが、爆彈はいづれも的を外れ、日本人東部小學校はるか東方地區および浦東に落下、わが兵に被害はなかつた

厦門の空氣頓に惡化

我領事館員急遽引揚か

【東京國通】厦門の高橋總領事代理より廿八日外務省への着電によれば、厦門の空氣は廿七日夜から急激に惡化し、便衣隊が總領事館を包圍して形勢頗る不安のため內地人及び本島人(臺灣人)は全く通行も出來ず館員一同は總領事館內に籠城のやむなきに至つてゐる、殘留邦人約一千名は大部分が本島人で內地人は館員僅か三十一名に過ぎず、館員の家族は既に廿六日基隆へ引揚げたが、これら日本人の中には數日來支那人のために銃殺されたもの多數ありといはれてゐる、更に支那側では厦門附近に飛行場、格納庫を新設し砲臺を急設するなど對日戰備を整へてゐるが、廿七日より中央軍第五十七師の軍隊が市中に入り込み其中には多數の共產黨員が含まれてゐるといはれ形勢全く不穩となつたので廣田外相は二、三日中に總領事館員全部の引揚げを命ずる筈である

命令一下、敵陣地へ

決死白襷隊の突擊

敵前上陸共同作戰(概況)

【上海廿八日發國通】第〇艦隊報道班午後二時發表=今次上海事變において海陸共同作戰は陸に空に海に眞に皇軍の威力を發揮してゐるが、共同作戰の華敵前上陸の大成功に對し八月二十五日附閑院參謀總長宮殿下および陸軍大臣より第〇艦隊司令長官に感謝電を寄せられ今次上海派遣軍先遣隊の敵前上陸の成功は〇〇艦隊の積極緊密なる共同作戰による點を述べられ、尚本戰鬪の爲犧牲となつて散つた將士に深甚の敬意を表せられた、この上陸作戰に對しては今迄特に發表されなかつたが、戰況概略左の如し

〇〇〇敵の守備に任じ連日大敵と戰ひ租界線を守備してゐた竹下〇隊は廿二日特別任務を命ぜられ〇〇、〇〇の三運輸船に密かに乘船、軍艦護衛の下に暗夜黄浦江を下つて廿三日未明〇〇に到着した、現地に到着するや護衛の驅逐艦先づ轟然たる火蓋を切つて地上の敵を制壓するうちに運輸船は勇敢に船員の手で岸壁に横付けを試みた、かくと見た敵は數十米に線を敷き一齊機關銃、手榴彈の雨をふり注ぐ、その中を白襷綾どつたわが陸戰隊の勇士は陸軍の一部隊と協力、竹下白襷隊長の突擊命令一下一齊に船上より飛降り敵陣めがけて殺到地雷火の炸烈、機關銃の集中射擊の中を勇敢に突擊をくり返すこと數回、激戰後約三時間の後見事に附近の敵を擊退、陸軍部隊上陸の端緒を築いた

支那軍增援部隊 京滬沿線に到着

【上海廿八日發國通】支那軍增援部隊は京滬沿線に續々到着、積極的反抗の體勢を整へつゝあり、わが軍は廿八日朝十時より閘北西部京滬沿線一帶に對し猛烈なる砲擊を行つてゐる

人心動搖強壓策に

テロ政策を採用

南京政府に怨嗟の聲高まる

【上海廿八日發國通】南京政府の逆宣傳にもかゝはらず支那軍敗退は顯著となり、一般民衆は今や全く政府を信賴せず流言蜚語亂れ飛んで人心の動搖甚しく、今や中南支に波及せんとする勢ひにあるので政府は頗る狼狽しこれが鎭壓策として對民衆テロ政策をとるに至つた、すなはち虛僞、捏造の事實を構へて無辜の民衆をどしどし逮捕し、その數も數千名に達するに至つたので民衆は極度に恐怖し政府怨嗟の聲が高まりつゝある

【上海廿八日發國通】支那側の對民衆テロ政策は益々拍車をかけてをり

一、徴發に反抗したるもの

一、軍夫として召集されるを恐れて逃亡せんとしたもの

一、かつて日本に長期間居住したことのあるもの

等はすべて日本軍スパイの名のもとに逮捕銃殺されその數は數千名に上つてゐるが、更に通日新聞等にこれらの捏造の賣國事實を列擧し民衆の恐怖をあふつてゐる

滬杭線重要地點 新龍華驛を爆破す

【上海廿八日發國通】廿八日午後八時十五分第〇艦隊司令部報道部發表

一、陸戰隊は依然租界線を確保して敵を制壓、陣地を前進しつゝあり

二、海軍航空隊は專ら陸軍および陸戰隊と協力敵陣地の空爆を行ひつゝあるが、廿八日午前新龍華驛を爆擊破壞せり、新龍華驛は滬杭線に沿う兵站上の重要地點なり

羅店鎭占領

【上海廿八日發國通】廿八日午後八時〇〇報道部發表=揚子江方面に上陸せるわが〇〇部隊は廿八日正午羅店鎭を完全に占領せり

上海方面の一般狀況

【東京國通】廿八日午後海軍省着情報によれば、上海方面の一般狀況は左の如くである

一、わが陸戰隊の一部前進せるため楊樹浦方面の交通は安全となり水道、電氣、電話など公共事業の復興やうやくその緒に着かんとし、外國人の出入漸次頻繁を加へてゐる

二、右に關聯しわが方においては不良外人の潜入、殊に支那人の潜入に對し極力取締を嚴重にすると共に公共事業關係以外のものにして各倉庫その他私有財產を濫りに搬出せんとするを防止してゐる

三、日本人居留民はこゝ二、三日間晝間敵の砲擊および爆擊なく且つ豐富なる海軍省救恤品の分配を受け益々活氣を呈してゐるが、なほ夜間敵の空襲あり、一抹の不安が殘つてゐる

四、南市浦東方面の支那住民は軍隊の侵入により戰々兢々として共同租界ならびに佛租界に流入する者ますます多くその數約三十萬に達するといはれ、兩租界共あらゆる機關は大概停止の狀態であつて夜間は街燈を點じてはゐるもの(蘇州河以東は眞の闇なり)四面は肅々たる有樣である

小泉元遞相等きのふ來京

暴戾支那軍膺懲のため日夜北支の炎熱下に奮鬪してゐる皇軍を慰問のため衆議院から派遣された北支那派遣軍隊慰問議員團々長元遞相小泉又次郎氏は令息小泉純也氏、同議員肥田琢司氏、同綾部健太郎氏、三木武夫氏、松田竹千代氏の五氏を伴ひ二十八日午後六時三十分着(延着)のあじあでヘルメット帽に水筒を肩から吊した揃ひの身輕な裝で來京、山口滿鐵支社長に迎へられて自動車で公館には入り、滯京中の松岡總裁とゝもに晩餐をとり色々懇談を交へ、ヤマトホテルに分宿した、元氣溢れた小泉氏は驛頭で語る

一行十四名は十九日大連に上陸し二十一日天津に着いて第一線まで進み、日支兩軍が交戰してゐるところまで行き、各部隊を懇ろに慰問し感謝の辭を述べて參りましたが、前線の兵隊さん達は全く涙ぐましいものがある、廿六日に一旦天津で解團して我々は新京まで足を伸ばした、だが三日には臨時議會が召集されるのでソ滿國境も視察したかつたが明日は引返して奉天に行きこれより直ちに朝鮮經由でかへることになる、なほ一行は二十九日午後二時十分發あじあで赴奉の豫定である(寫眞は新京驛着の一行)

大津長官歸京

北滿地方視察中の大津內務局長官は二十八日午後九時三十五分着列車で歸京した

少年團新願祭 けふ擧行

都合により延期してゐた新京少年團の新願祭は二十九日午後二時から全員新京神社に集合嚴かな新願祭を擧行することになつた

滿拓公社首腦部人事

滿洲國政府では廿八日付をもつて滿洲拓植公社首腦部の人事を左の如く發令した

滿洲拓植公社總裁被仰付 坪上貞二

滿洲拓植公社理事被仰付 李銘書 生駒高常 安江好治 花井脩治

人事往來

(各通)

▲入江正太郎氏(電業副社長)二十八日歸京 ▲三村哲雄氏(官吏)同來京ヤマトホテル ▲龜山直人氏(帝大教授)同 ▲久保田豐氏(長津江水力常務)同向陽ホテル ▲古澤民雄氏(富士電機)同 ▲中川弘氏(同)同

傷語

內地では應召軍人をして後髮を引かれないやうその家族を扶助するために軍人後援會といふを造り▼物質的精神的に一村一町內の人々が相互扶助の溫いところを見せてゐる▼それに動かされた譯でもあるまいが文部省では從來五十萬圓の就學獎勵費によつて▼全國約五十萬人の貧困兒童に對して學用品その他の給與をしてゐたが▼今回の事變による應召軍人家族子弟で窮乏してゐる者に對しては更に溫い手をさしのべて▼後顧の憂なからしめる必要ありとしてこれ等子弟に對する學用品及び運動服費等全額を負擔▼就學にさしつかへなきやうするため一人當り六圓から七圓位の費用を見積約四十萬圓を要求し九月の臨時議會に提出することゝなつたことは喜ばしい▼提出するだけでなく必ず實現させることに全力をつくして貰ひたい▼室町小學校の女生徒が夏休み中に縫ふた造花人形等を携へて陸軍病院を慰問した▼純眞無垢の童心にさぞかし勇士も喜んだことだらうがそれを聞く我々さへ自然と微笑される▼そんじよそこらに居る賣名愛國者よ少しは少女達の爪の垢でも煎じて飲め

社説

躍進する滿洲經濟

一

滿洲中央銀行の第十期通常株主總會の席上、田中總裁が行つた演說は最近の滿洲經濟界の推移を明確に叙述したものとして注目されるところであつた。すなはち先づ滿洲經濟界の大本をなす農業については、農產物の狀況は前期より本年上半期にかけて好調に推移し、特產物價は漸騰步調を辿り、農家の經濟は好影響を受けてその購買力は著しく增大したことが語られてゐる。特產物の出廻りも全體として比較的圓滑に行はれた。かゝる狀態はこの國に於ける治安の確保に基づくものであり、更に今後に好望を持たせるものとして大いに喜んでいいところである。

二

鑛工業界は、愈よ產業開發五ヶ年計畫が實行の段階に入り、產業各部門にわたつて積極的に增產施設が開始され、すでにその成績の大いに見るべきものもある。また重要產業統制法も公布されて、必要なる部門には强化された國家統制が行はれることゝなり、全產業の綜合的發展が期待されてゐる。そしてこれを通じて知られることは、この國の產業の重心が次第に重工業に移り精工業に進んでゐることである。これは現下の時勢の必要に卽應するものであり、滿洲經濟の質的な變革として大いに注目さるべきところである。建設的事業方面に於いて官廳、會社等の大工事がほゞ一巡し、これに代つて鐵道道路、橋梁等の交通事業が盛んになりつゝあるのもいはゆる建設景氣の一段落を示すものである。國內交通網の擴充によつて、產業開發の進行は更に大いに便宜を受けることとなるであらう。一般事業界に於いては多數の新設會社が出現し、各種會社の資本總額は前期末より二億以上の增加を示してゐる。顯著なる躍進である。

三

貿易は輸出入ともそれぞれに增加、而して日本との密接な關係が加へられてゐる。輸入品に於いて綿糸布、綿織物が增加したのは農村購買力の增大を示し、砂糖、小麥粉が著しく減少したのは國內生產の增加せる反映してゐる。輸出に於いては大豆を首位とし、豆粕、石炭、落花生等がこれについでゐる。その他、國內に於ける金融機關の發展堅實化、民衆貯蓄の增進、低金利の擴充、政府歲計の堅實性增大、貨幣發行額の增加、通貨統一の完成、爲替相場の堅實なる推移等、何れも上々の成績をあげてゐるのであることが知られる。今後に於いてもこの國の經濟力を强化するためにはなほ努めらるべき課題が存する。各方面の協力ますます堅くして良い成果をあげることを望まねばならぬ

惡戰苦鬪の二旬
二千年の歷史も今は語らず
峻嶮・八達嶺に秋深し

【八達嶺廿七日友松國通特派員發】夢寐にも忘れなかつた八達嶺が遂に陷ちた、水もなく食もなく峻岨な山膚にかじりついて敵彈を浴びること十五日、わが將士の合言葉は「八達嶺へ、八達嶺へ」の四字に盡きてゐた

廿六日午後五時半〇〇部隊の八達嶺占領の一瞬は實に歷史的な感激の瞬間であつた、記者は居庸關より〇〇部隊本部隊に伴ひゴロ石と泥濘、隘路を進むこと約四里、從軍記者として唯一人八達嶺一番乘りを行つたが、居庸關の猛襲に算を亂して潰走した敵は既にその影も見えず、破壞された鐵道線路、鐵橋、道路に殘された支那兵の黑くふくれた死體等を見るのみ、奥秩父の嶺に似た重疊たる山また山を越えて景勝、清流峽に入つたが附近の民家には既に人もなく所々に茄子や南瓜が遺棄されてゐる

二千年の歷史を語る三條の長城の集るところ八達嶺には既に深い秋がしのび寄つてゐた朔北の西域から吹き渡る冷風は亂れ咲く麻、蕎麥、女郎花の秋草をゆすり、汗にぬれた服に吹き寄せて肌寒い、南門を潜つて城內に入れば右手に石造りの建物が一つ、これが鬪守の住家ででもあらうか、左手にある樓はわが砲彈の好餌となつて離散し瓦礫と化してゐる、長城によつて北方を眺むれば希望の地懷來平野は指呼の內にあり、西の彼方の山脈は遠く靄に包まれて蜿蜒とくねつてゐる、二旬近くの苦戰に失つた戰友の數はいかばかり、〇〇部隊長以下傷ついて後方に送られた戰友また幾何か、堪へられぬ喜ひはまた深い憂ひを呼ぶのか聲を發する者とてもない、感慨無量の記者が思はず「隊長殿」と呼びかければ「おゝ」と答へた部隊長の陽燒けした溫顏にも一滴の露が光つてゐる、やゝあつて長城を壓する萬歲の聲「北門鍵」と彫つた城門の上に日章旗がハタハタと翻つたのである、何かしら悲しい思ひを抱いて記者は午後六時夕陽を受けて岔道城に入つた

長城戰の苦鬪
歸津の某參謀は語る

【天津廿七日發國通】長城戰に參加せる某參謀は本廿七日午前十一時歸津、その奮戰狀況を說明したが、幾多の奮戰美談を齎し多大の感銘を與へた

長城線確保に參加した部隊は南口、居庸關の敵陣地に對し〇〇、〇〇兩部隊が平綏線に沿ひ進擊、居庸關の要害を占據して愈よ破竹の勢ひをもつて突進、廿六日午後一時半つひに察哈爾平野の咽喉たる八達嶺を占據するに至つた、同部隊の右翼よりは〇〇、〇〇、〇〇、〇〇各部隊及び〇〇諸隊が山岳戰を展開しつゝ廿三日つひに長城線を八達嶺より西

南十里 にわたつて占據したものであるが、その奮戰は鬼神を泣かしむるものがある、第一これら部隊の總指揮に當つた〇〇部隊長は霧深くして危險極りない山岳の前線を單身プスモス機に搭乘、敵彈をあびながらも味方に通信筒を投下してゆく等世界戰史未だかつて見ざる壯擧をなした、かくてこそ〇〇、〇〇、〇〇、〇〇各部隊は峻嶮なる山岳を征服し、遂に

長城線 を突破したのである、又この日數に比しやゝ長いとは云へ〇〇、〇〇兩部隊は一週間にして八達嶺より一三九〇高地の長城線を確保したのである、何分峨々たる峻嶺の中にあるために偵察飛行も低空飛行を敢行するのやむなきに至り、中には山腹に機體をぶち當て、或は死ぬならせめて敵陣に突入してこれを爆擊せんとした壯烈なる〇〇機もあつた、さらに地上部隊は僅か四キロの行程が五日間を要するといつた狀態であつた

十日夜 より行動を開始した〇〇部隊は、十三日には〇隊長自ら僅か八十名の兵を率ゐ七百以上に達する敵に包圍されながらも奮鬪の末これを擊退するかとみれば、〇〇部隊の如き五十名の寡兵をもつて十日間敵陣地の中にあり、つひに敵塹壕內に拔刀して斬り込みするといふ悲壯なものもあつた、又一三九五高地西方二里長城線の要害山口山（〇〇部隊が命名）の占據に〇〇部隊の勇壯義烈なる行動は肉彈

又肉彈 で終始し、廿一日正午頂上において約一時間にわたり白兵戰を演じ、廿二日午前三時頂上の堅固なる望樓をたゞ拔刀銃劍で突入し〇〇部隊の如き敵を頭から袈裟がけに斬つたまゝ壯烈な戰死をとげてゐた兵もあれば、敵兵の胸部をつきそのまゝ手榴彈をうけ戰死してゐた兵もあつた、廿三日には〇〇部隊が六ヶ所の望樓を夜襲してとる等その他幾多の

武勳が 將兵一體の協力により樹立された、しかしこの長城戰において一番苦しかつたのは食料、彈藥の補給のつかぬことであつた後方輸送の途なく携帶品を食ひ盡して遂に草の根葉の露、一本の玉蜀黍を四、五人で分けて空腹の一部を滿し、彈丸つきてつひには煉瓦、石を投げてこれを手榴彈に代へるといつた狀態であつた、かくの如き苦戰にもかゝはらず疲勞の顏付もせず

頂上を 廿四日漸く完全に占據するや疾風怒濤の如く懷來平地に進み、今第二の體勢を整へるに至つたものである

地下戰友にこの喜びを
殊勳部隊長談

【岔道城廿七日發國通】平綏線最後の峻峰八達嶺を陷し入れた殊勳の〇〇部隊長は岔道城のとある民家で語る

去る十一日以來滿半月、雨につけ風につけ猛烈な苦戰を續けて來たのは全く八達嶺を拔かんがためであつた今は亡き忠勇なる戰友、部下とこの喜びを分つことが出來ないのは殘念であるがさぞかし地下で喜んでゐて吳れることであらう、今から平地における殲滅戰が出來るかと思ふと胸の高鳴りを感ずる

眠れる獅子敢然起てり
＝話題の人德王と語る＝

【張北廿七日國通中村特派員發】察哈爾作戰に從軍した記者は廿七日午後四時蒙古軍司令部に於て內蒙軍政府總裁德王及び李司令と會見するを得た、內蒙軍戰勝の祝意を述べるや德王、李司令は記者の手を固く握りしめ

蒙古人は七百餘年眠つてゐたのだ、しかしながら蒙古人は日本を盟主として亞細亞復興のため奮然起つ秋が來たのである、關東軍の援助と日本各方面の支援により大蒙古建設の礎を今吾々は築きはじめたのである、われ等は日本民族と運命を共にし日本民族の亡びる時は又蒙古軍も亡びるの時である、步一步大蒙古建設の基礎を固め綏遠、察哈爾を中心として外蒙古、中アジアの同族を募り理想達成に邁進する覺悟だ、我等は退却してはならぬのだ、成吉思汗の意を繼ぎ七百餘年眠つてゐた蒙古族の覺醒を期せねばならぬ

と大蒙古建設の決意を述べ、更に紙面を通じて日本朝野の援助に蒙人が感謝してゐる旨を傳へて吳れと附け加へ、記者の肩をポンと打ち陽燒けした顏に笑ひを浮かべ堅い握手を交した記者は再會を約して察北に夕闇迫る午後八時司令部を後にした【寫眞は德王】

"對日武力援助は目下の處出來ぬ"
＝駐支ソ聯武官言明＝

【上海廿七日發國通】第三インターの赤化の魔手は日支事變を契機に支那全土に伸び、一方武器彈藥その他の供給による對日武裝援助はいよいよ積極的に行はれつゝあるが、最近當地にある東洋事情通の某外人は右につき次の如き興味ある事實を語つた

□

南京政府はかねてソ聯政府に對し「單に軍需品による戰爭援助に止まらず、赤軍を對日戰線に動員されたい」と要請し來つた處最近浦鹽から歸任した南京駐在ソ聯陸軍武官レーピン氏は南京政府に對しソ聯は武器彈藥その他一切の手段による援助を惜まないが、遺憾ながら赤軍は目下改編中であつて支那軍を武力援助することは當分不可能であるから、支那軍は獨力で日本に抵抗されたいと傳へたので、南京政府は非常に失望したといふ事實がある、また支那空軍がカセイホテル、スタンダード及び亞細亞の兩石油會社や英國の倉庫を無軌道に爆擊したり上海附近の外國租界で支那兵が暴虐な行動を働いたりする裏面にはコミンテルン一流の惡辣な觸手が動いてをり、英米兩國を語つて日支紛爭の渦中に捲込まうとする陰謀の一端を示してゐる、これに對し現地における英米兩國の官邊は勿論有力商社の如きもコミンテルンの支那赤化工作は結局ソ聯以外の國に不利を齎すほか何ものもないことを知悉してゐるので努めてソ聯側の煽動に乘ることを警戒するは勿論、本國政府に對しては一九三二年列强參加の下に調印せられた上海停戰協定を想起し、これに忠實ならんことを要請してゐる

大動搖を來せる支那軍
士氣鼓舞に躍起

【上海廿七日發國通】廿六日の上海戰線は全線にわたつて概ね平靜を持しわれに十倍する大軍を擁しながら支那軍は積極的攻擊に出づることなく專ら損害を受けた最前線部隊の補充、指揮者の入替、軍需品の補充等を行ひ日本軍に對する反抗の準備に終始した模樣である、しかして支那最高軍事當局はわが陸軍部隊の上陸以來大動搖を來してゐる上海包圍支那軍の統制と士氣を鼓舞するため必死の努力を傾注してゐる、傳へられる蔣介石の前線觀察の如きもその一つといはれてゐる

發火信號の便衣隊を
憲兵隊嚴探中

【上海廿七日發國通】數日前より敵機夜襲のたびごとにわが〇〇艦碇泊附近の屋上より頻りに火箭を射ちあげ發火信號を行ひつゝあり、これは虹口に潛入した便衣隊の仕業なること明瞭で、目下憲兵隊その他で嚴探中である

財政難に惱む國民政府
事變公債五億元發行

【上海廿七日發國通】時局の永續により軍費の捻出に窮して國民政府はいよいよ九月一日より國防獻金の名の下に五億元の事變公債を發行して軍費の調達をはかることゝなつた、軍費の膨脹によりインフレ懸念の折から右は公債紙幣の增發となり、インフレを一段と促進する結果として注目される、新公債は自由公債と稱し年利二分で償還期限は十四年乃至四十四年の長期で、一般から公募することゝなつてゐるが、確聞するところによれば、國民政府は今回の事變により財政難を招來し前途頗る憂慮されてゐる今日、たゞ愛國心の發動によつてのみ可能なるかゝる惡條件の公債が現下の情勢の下に發行不可能なることを豫想し、表面公募の形式をとるも大部分政府系銀行に額面の一割をもつて强制的に受け負はせる方針のものゝ如くである、從來支那における公債發行額は額面の平均六、七割見當で如何に非常時とは云へ發行價格一割といふが如きは未曾有のことで時局不安につき國民政府の信用失墜の反映せるものである

一、發行總額　五億元
一、利率　年二分、明年八月卅一日より每年一回利息支拂を行ふ
一、償還期限　一九五一年乃至一九八〇年、每年一回抽籤拂戾を行ふ

支那を東洋のスペインに
―ソ聯の對支方略―

【東京國通】トハチエフスキー事件後のソ聯內情視察のため特派された東京日日布施勝治氏はリガから

長文 の電報を寄せてソ聯の對支援助方略を報じ、その最後目的は支那全土をあげて東洋のスペインとなせといふにありと斷じてゐるが、中でも最近注目の的たるブリユツヘル將軍の位置に關し左の如く論じてゐるのは注目をひき、クレムリンにとり大きな頭痛の種はブリユツヘル將軍の問題である、ブ將軍が南露のサナトリウムに心ならぬ療養を續けてゐるうちに日支事變がグングン大きくなつて來た、かうなつて來るとこのまゝで將軍を引こめてしまふ譯にもゆかぬ、少くとも支那をひきつけ、日本を脅威するにブ將軍の名は相當力がある、そこでクレムリンの智慧をしぼつて考へ出したのが彼の外蒙派遣である同時に極東ではワイレキス將軍を

督勵 し、ブ將軍の留守中肅黨と肅軍を急がせ、彼が歸つて來ると幕僚の顏觸はすつかり變つて彼の周圍にはエジヨフ內務人民委員の手先が取圍むといふ段取りである、ブ將軍の外蒙派遣はかくして一石二鳥の政策とみるべく、なほ一般の興味をそゝるのはブ將軍の外蒙派遣說が喧しくソ聯政府筋に絡んでゐることで、モスクワからの消息は寧ろ右の說をもつて對日牽制のための宣傳に過ぎぬと云つてゐる、まあブ將軍を極東司令官として獨斷專行の權を與へると勝手に戰端を開く恐れがありとなし危險期だけでもなるべく彼を同軍から離して置くといふ觀測を下してゐるものもある、革命政治家の最も恐れるのはボナパルチズムの擡頭である、凱旋將軍に政權を奪はれては革命は臺無しである、千九百二十九年滿洲里の

一戰 に學良軍一個を破つたゞけでブ將軍のモスクワ凱旋は素晴らしいものであつた、勝つても危い、況や勝算のない戰ひにおいてをやだ、布施氏はその結論でクレムリンの方針は日支事變に宣傳や武器の補給などで側面から働きかけ、日本に對しぶつゝかるといふよりも支那それ自體を赤化せしめ千九百二十八年の失敗を千九百三十七、八年に取返さう、考へれば支那を擧げて東洋のスペインとなすべしといふにを指してゐる、若し國民政府にしてより以上をソ聯に期待するならば、當てが外れるであらうと見ると評してゐる

戀の蒙古王子に近くお目出度
花嫁はピアニスト吳迎坤さん

蒙古王族巴布扎布將軍の遺兒で滿洲事變當時兄の甘珠爾扎布氏を扶け、蒙古義軍を起して華々しい活躍をなし、滿洲建國後は戀の蒙古王子として大和撫子との間にロマンスを謳はれた現治安部事務官正珠爾扎布氏（三三）、日本名田中正）は今秋九月二十九日中銀監事丁士源氏の媒酌で鑲藍旗の旗人吳氏三女吳迎坤さん（二三）と奉天において華々しく華燭の典をあげることゝなつた、花嫁迎坤さんは東京音樂學校出身のピアニストで才媛の譽れ高い麗人である、なほ正珠爾扎布氏は擧式後蒙古義軍當時の思ひ出の街海拉爾へ向け蜜月旅行の途に上る筈喜びの氏は語る

結婚なんて運命ですよ、なかなか自分の思ふ通りになるものではありません、夫婦といふものは良人が良人たる道を行ひまた妻が妻たる道を行へば自然と和合するものだと思ひます、これは僕の結婚哲學です、迎坤さんとは見合の時一度會つたきりで總ては仲人の丁士源さんにお委せしてあります、式は奉天の丁氏邸で擧げますが、時局柄ごく質素にやりたいと思ひます

經濟部對明星戰
廿九日西公園コートで

明星庭球倶樂部對經濟部庭球試合は廿九日午前九時より西公園庭球コートにて開催される筈で、當日の試合は先般中銀、興銀、經濟部三ヶ所對抗試合に於て優勝した經濟部對明星倶樂部對戰だけに相當興味をそゝることであらう、然して當日明星倶樂部の監督兼マネージアーは市公署の梅澤君が努めることになつたと

手形交換高（廿八日）

三四七枚　[illegible]

鮮魚小賣相場（八月廿八日）

品名	最高	最低
活鯛	二五五	一五六
氷鯛	…	…
中小鯛	一二〇	七六
コロ鯛	…	…
チヌ鯛	五五	四八
連子鯛	…	…
イセエビ	一四五	六五
車エビ	…	…
白サエビ	一八〇	…
小エビ	六〇	三五
小スマ	…	…
小アジ	四六	…
マグロ	二八	…
中アジ	…	…
ブリ	…	…
ヤズ	…	…
ヒラス	五六	四三
マナ	六五	…
サワラ	五〇	…
マス	五二	…
ススキ	三六	四〇
ニベ	三一	二一
アジ	三六	三〇
サバ	二四	七
赤ムツ	…	…
ギザミ	…	…
アコウ	七二	六六
メバル	…	…
アブラメ	…	…
ボラ	…	…
タコ	四〇	二八
甲イカ	四八	…
ヒラメ	四二	二九
カレイ	…	…
小シイラ	…	…
グチ	一三	一一
小市	…	…
イワシ	…	…
ハゲ	…	…
ボーボー	…	…
メナガシラ	…	…
コノシロ	二五	一八
ツナシ	二一	…
連長	二五	…
オコゼ	…	…
シイラ	…	…
サンマ	…	…
太刀魚	一八	…
キス	八〇	四六
サヨリ	四〇	三三
アナゴ	六五	六〇
ハモ	四四	…
ハゼ	一五	…
フカ	…	…
赤エイ	…	…
アユ	一〇五	一三五
白魚	四二	三六
ウナギ	一一〇	四六
ドジョウ	…	…
アワビ	一一〇	六〇
貝柱	三三	二七
鮮立貝身	…	…
赤貝	三〇	二五
[illegible]貝	二三	…
ハマグリ	一〇	五
カニ	一七	一三
鹽サバ	…	…
オバ	四[illegible]	…
冷イカ	四七	二九

（切り身相場）

品名	最高	最低
[illegible]木	一三〇	一一〇
ブリ	四五	四〇
ヒラス	一〇五	八〇
マス	八〇	六五
サワラ	八〇	七〇
ススキ	七〇	四〇
ニベ	六五	五五
ヒラメ	五五	四〇
水蛸	…	…
フカ	一六	一四
赤エイ	一七	…

戰線の誠忠談相つぐ

江陰の敵陣中に 愛機諸共自爆

南野機に次ぐ蒲地機の最期 壯、長山南麓爆破行

【東京廿八日發國通】またしも壯烈な自爆戰術が廿二日江陰においてわが荒鷲部隊によつて敢行された、八月廿二日わが○○海軍航空部隊○○機（三等航空兵曹蒲地梅男操縦二等航空兵曹和田正偵察）は江陰空襲部隊に參加し長山南麓軍需工場を爆破した際敵の猛烈なる防禦砲火を浴び、その一彈は機關部を貫いて火災を起すとみるや所詮生還は期すべからず、同じ戰死をするなら暴戾なる敵軍を冥途の道連れにせんものと火を吐く愛機をたて直し地上の陣地目がけて眞しぐらに突擊し、蒲地機は物と人との全部をあげて殘る爆彈諸共に群がる敵兵の眞只中に轟然爆破壯烈悲壯なる最期を遂げた、さきに十六日蘇州爆擊において南野中尉機の肉彈機あり、ついで再び蒲地機の自爆戰術を見ることはまさにこれ大和魂の大爆擊と感激の的となつてゐる

傷癒えぬ身で 敢然第一線 田中軍醫中尉 意氣や悲壯

【上海廿七日發國通】廿四日敵前上陸直後白兵戰で名譽の負傷をした○○部隊の田中軍醫中尉は、○○○に收容手當をうけ廿六日軍艦○○にて護送されることゝなつたが、同中尉は「前線の將士が傷つき倒れてゐるのに自分のみが護送されては第一線將士の應急手當が出來ぬ、これでは軍醫としても意義がない」と軍醫長に護送中止方を願ひ、廿七日戰友等のとゞめるのもふりきり敢然傷未だ癒えぬ身を再び激戰の第一線に向つて行き將兵一同の士氣を鼓舞し一同感激せしめてゐる

必死、送還を 肯んぜぬ忠誠 重傷の本田一等水兵

【上海廿七日發國通】去る十七日○○○陣地で敵の空襲を擊退すべく奮戰中のわが○○○隊の一等水兵本田倉一氏は不幸敵の爆彈により重傷を受け入院手當を受けてゐたがいざ內地へ送還ときまるとどうしても送還を肯んぜず、部隊長の命で愈よ內地に送られることゝなるや、左の如き決死的な請願書狀を隊長に送つた書面の中に溢るゝその意氣の旺盛と忠誠の吐露に隊長を始め全員を感激させてゐる、手紙の內容は左の通りである

隊長殿、本田倉一一生のお願ひです、こんな僅かな負傷で內地へ歸つては死んでも死にきれません、隊長殿どうぞ佐世保に私が歸つても直ぐ○○○隊に歸へれるよう送還せずにおいて下さいませ、私はこのまゝでは橫須賀にはとても歸れません

覺悟して來たのだ 此儘では歸れぬ

白衣の海陸勇士義憤に燃ゆ 激戰の後に此意氣

【軍艦○○にて廿七日國通特派員發】○○埠頭に橫づけされた軍艦○○の右舷には傷つける陸の强者、海の勇者達が白衣に身を包んで濁流に映る月影を眺めてゐるのだ

もう一度戰線に立てるやう軍醫長に願つて見るか、折角覺悟して來たのだ、このまゝ歸られない、一發ドカンと彈丸を喰はせたいとあちらの隅でも勇士達が口々に言合せてゐる、將士達の顏も瞳も暴虐なる支那兵に對する義憤に燃えてゐるのだ、敵前上陸第一歩未曾有の大激戰に肉を裂き骨を削るとも一歩たりとも退かず所定の地點確保のため壯烈無比の活躍をなして名譽の負傷をなした○○部隊の將士○○名及び上陸掩護の人柱となつた決死の白襷隊○○陸戰隊員○○名の傷つける猛者達なのである、對岸浦東の空に砲聲が轟きはじめた、白衣の勇士達はもう語る者もなく、砲聲に心を奪はれてゐるのだ、ドーンと一發誰かゞ突然大きな聲で叫んだ誰も答へる者もない、甲板に靴音がする「夜風は强いぞ」軍艦○○の病院長瀨屑中佐の聲だ

病院長！早く癒してもう一度やらせて下さい、自分の傷は淺いのです、戰線に立てるやう取計つて下さいとバラバラと十數人の白衣の勇士が同病院長の傍へ馳寄つた、病院長は無言のまゝ傷つける强者達の手を一つ一つ握りしめてゆく、その瞳はキラリと淚で濡れてゐる

砲聲は刻一刻猛烈となつて來た、後甲板に記者と二人並んでゐた海軍白襷隊の鬼隊長といはれた柴田中尉が記者に渡した紙片には

長恨をのんで下る江浦の月

と記されてあつた

爲替管理强化の爲に 內地輸入不圓滑

對滿事務局對策に乘出す

滿洲農産物—

大藏省の爲替管理に對する緩和は各部門においてそれぞれ陳情されてゐるが、肥料業界においては現在のところ許可まで半月乃至廿日の日數を要し、この間屢々商機を逸するのみならず、且つその量においても前度の實績を基礎として許可する關係上、最近の値上り及び需要增加と關聯して取引上の不圓滑甚しく、過般來東京肥料協會は滿洲支社及び對滿事務局に對しこれが側面的緩和運動を要望してゐたが、近く何等か具體的方法に出づるものと期待されてゐる、而して廿五日東京肥料協會が大藏省に對し爲替管理强化の結果、滿洲國よりの農産物（肥料を含む）輸入をも根本的に認めざるため斯くの如く許可が遲延してゐるのではないかと訊したのに對し目下許可が遲延してゐるのは許可申請が殺到してゐるからに過ぎず、滿洲國よりの輸入を認めないといふことは絶對にないと言明した由である

しかし事態は非常に急迫してをり、目下肥料時期に非ざるため市場は比較的閑散であるが、來るべき秋肥の時期を前にして內地輸入商輸入許可遲延のため極度に困惑してをり滿洲國においても事態の推移に注目してゐる

參事 園田一房
○○事務所長を命ず
大連鐵道事務所事務課長 參事 森田進
○○事務所長を命ず
鐵道總局建設局工事課 參事 梅津理三
○○事務所長を命ず

協和會の 飛機獻金募集

協和會では飛行機獻納金を全會員より募つてゐるが八月二十七日までに首都本部管下各分會その他の應募額は七千七百四十五圓八十三錢に達した內譯左の通り

（分會名）	（金額）圓 錢
內務局	二〇〇、〇〇
營繕需品局	一、〇〇〇、〇〇
滿洲炭鑛	四〇〇、〇〇
大經路	二二八、七九
立法院	一七、三五
大東公司	四一、三四
興安局	六三、二三
計器公司	五一、一〇
參議府	一、〇〇〇、〇〇
審計局	一三六、四一
大德公司	一〇九、〇三
衞生技術廠	一七〇、九〇
經濟部	五〇〇、〇〇
大陸科學院	一一二、九二
長通路	三四六、九三
特別市妓館關係者	五〇、〇〇
有志一同	八五、五〇
大興公司	三六六、〇〇
國都建設局	三〇〇、〇〇
地籍整理局	
宮內府	一、二三八、三五
中央區	八九六、七五
長春縣公署	六六、七三
日滿商事	一六四、五〇
大同學院職員一同	三〇〇、〇〇
計	七、七四五、八三

奉天省下の水害 豫想外に甚大

現地へ係員急行す

過般來の降雨による奉天省下新民、開原、法庫各縣水害狀況は豫想外に甚大で、二十七日朝來各地よりの水害狀況は頻々として省當局に達してゐるが、當局は事態を重大視しこれが應急對策のため關口事務官以下五名を二十七日午後四時二十分皇姑屯發列車で新民に急行せしむることゝなつた、同日正午までに判明せる各地水害狀況左の如し

一、新民縣 堤防八個所決潰死者八名、負傷三名、罹災民一二、三七五名、浸水家屋一七、〇〇八、倒壞家屋一、九七五、橋梁流失一八
一、開原縣 死者四名、倒壞家屋一〇、橋梁流失一六、農作物浸水六、七三〇、田地浸水一、三〇〇、道路浸水七、二九三米
一、法庫縣 戴家、馬家、娘々廟は遼河堤防決潰し被害甚大

川崎、山下汽船 遠洋航路開始

【神戸國通】川崎、山下兩汽船會社では遠洋航路補助に順應していよいよ九月下旬から左の如く遠洋航路を開始することゝなり邦船の進出は目覺しきものがある、川崎汽船の新航路開始は世界一周航路として九月下旬神戸港出帆の九千七百噸型ノルホーク丸を第一船として配船し、以後月一回定期とする筈で一航路七ヶ月の豫定である

△往航日本、フイリツピン、カラチ、スエズ經由ニユーヨーク、バルチモア、フイラデルフイヤ、ノルホーク、ボストン、ブラジル、アルゼンチン（場合によりジヤヴア及ガルフへも寄港）
△復航アルゼンチン、ブラジルよりパナマ經由日本

また山下汽船ではさきに計畫せるニユーヨーク中南米航路をいよいよ實施することゝし、第一船山里丸は十月五日神戸發、月一回配船をする、次に月二回定期の北米北太平洋岸航路を十月より開始するが、使用船として六隻を配置する豫定である

哈爾濱体育保健館の 建設プラン成る

体育文化の殿堂たらしむ

（哈）國民の體育保健指導機關として最近滿洲國政府が全滿主要都市に新設した滿洲體育保健協會支部は、目下具體的實施工作に乘出しつゝあるが、當哈爾濱支部においては開設以來數回に亘り理事會ならびに建築委員會を開き事業計畫審議の結果左記のプランに基き一大體育保健館を建設し既設の康德會館と併立せしむるとともに北滿體育文化の殿堂を新設することに內定、近く中央の承認を求める豫定である

一、建築費 三十萬圓
一、場所 八區運動場內
一、設備 兒童冬季遊戲場、カバート、スケートリンク、ボーリングアレー、弓場、土俵、醫務室、レントゲン室、太陽燈室、浴場、食堂
一、竣工豫定 來春着工し秋までに完成の豫定

無爲替輸入許可制 二十八日公布實施

【東京國通】大藏省では貿易の無爲替輸入の取締を强化するため爲替管理法の改正を行ひ二十八日公布即日施行したが、しかして大藏省の無爲替輸入取締方針は左の如きものである

一、無爲替輸入の許可は從來の輸入爲替の許可方針と同じで、不急不必要品の無爲替輸入は大體不許可とし軍需品、原料品の輸入は簡易にする
二、對滿關係特産品等の無爲替輸入は寬大とする
三、許可を受けた無爲替輸入貨物の代金の送金は原則として許可するが、手續きが二重になるから輸入前に許可を受けること

金井間島省長 皇軍將兵に 感謝電發送

金井間島省長は省民を代表し炎熱難苦を冒して日夜奮鬪する皇軍將兵に對し廿五日次の如き感謝電を發した

△感謝電
南京政府の容共反滿抗日に反省を促し東亞永久の平和維持のため暴戾なる支那軍閥の膺懲に炎熱難苦を冒し日夜不眠不休奮鬪さるゝ日本軍將兵各位に對し、省民を代表し愼みて深甚の謝意と敬意を表すると共に武運長久を御祈り申上ぐ

八月廿五日 間島省代表 金井章次
關東軍司令官
支那駐屯軍司令官
第三艦隊司令長官 閣下

二萬圓拐帶犯 北滿に高飛か

刑事隊八方に飛ぶ

本月廿三日社金二萬一千圓を橫領拐帶逃亡した大連市山縣通三菱商事支店使用人劉惠民（三二）の行方については大連署よりの捜索手配により極秘裡に全滿各警察署において嚴探中であるが、最近北滿に潛入した形跡あり、當地日滿警察當局は刑事隊を八方に派し檢擧に躍起となつてゐる

「婦女の鏡」編纂

大坂府が山內中尉母堂等 烈婦物語を集めて

【大阪國通】愛息戰死の報に接した山內達雄海軍中尉の母堂やす刀自が海軍省人事局に寄せた熱烈鬼人も泣かしめる母の手紙は廿六日朝各新聞紙上に發表せらるゝや全國民を感泣せしめたが、大阪府當局ではこれこそ日本女性の龜鑑としてこの一文を中心に盡忠報國の精神に基き古來幾多の烈婦の物語を一本に集め「婦女の鏡」を編纂することになつた

「婦女の鏡」は將來母たるべき女學生の精神教育のため各學校に使用せしむるもので山內氏母堂の手紙こそは綴れる字句は短いが幼い頃から父が御國のために捧げた子として淸く正しく育んだ點、母として日頃からわが子の決意をよく知り拔いてゐた點、逝きて物言はぬ愛息のために、天皇陛下萬歲を叫んでやまない母の心より老ひ行く身を顧りみて、月花の風情に亡き子を偲び飛行機をわが子の生ける魂として力强くなほ三兒を御國のため捧げんとする軍國の母の心等、一言一句が總て偉大な母の魂をそのまゝ打込んだものである

衆議院交涉會

【東京國通】衆議院各派交涉會は二十七日午後議院內に開會、臨時議會における議席をはじめ本會議日、質問日ならびに發言順位等に關し協議の結果、すべて前議會通りとすることに決定した、二十七日現在各派議員數は左の如くである

黨派	議員數
民政黨	一八〇
政友會	一七五
第一議員クラブ	四九
社會大衆黨	三六
第二控室	一三
東方會	一一
無所屬	一二

青年訓練所の 專任指導員採用條件

地方農村の中堅靑年層を教育訓練のため康德四年度に實施された全滿各地の靑年訓練所は非常なる好成績を示してゐるの鑑み、協和會ではさらに五年度より全滿各地に六十ケ所で訓練所を增設することゝなつたがこれ等靑年層の教育訓練强化のため建國精神に徹した獻身的靑年約百名を內地および全滿より募集し、中央本部において約二ケ月間教育を行つた上、增設される各訓練所に專任指導員として派遣することゝなつた、採用條件は左の通り

△滿洲における採用條件
採用人員 約六十名
△資格
一、日本內地人を原則とす
二、中等學校卒業程度以上の學力を有すること
三、年齡二十五歲から三十五歲まで
四、身體强健にして志操堅固なる者
五、出來得る限り軍隊生活の經驗を有する者
△締切期日
一、九月廿日までに協和會中央本部に履歷書提出のこと
△銓衡方法
一、第一次—口答試問
二、第二次—口答試問合格者に筆記試驗を行ふ
△銓衡期日
一、第一次—十月五日午前九時より
一、第二次—十月六日午前九時より
場所—協和會中央本部
△待遇
一、試驗合格者は槪ね二ケ月間一定の場所に收容し教育訓練す、訓練中は手當を支給す
二、訓練を終了したる者には各訓練所に派遣し靑年の訓練指導に當らせる
三、訓練を終りたる者は五年一月一日より正式に會務職員として月給を支給す

△旅費
一、銓衡地までの旅費その他一切の費用は自辨
△內地における採用條件
一、第一次銓衡は[illegible]務局に依賴し同省[illegible]導部の斡旋により[illegible]補者の推薦を受け[illegible]中より選定す
二、第二次銓衡は第一[illegible]合格したる者に[illegible]答試問により銓衡[illegible]
△資格
一、專門學校卒業程度の學力を有する幹部候補生出身者若くは軍隊教育を受けたる者
二、年齡廿五歲位より[illegible]歲位まで
三、直接地方農民の訓練に當るをもつて[illegible]方面の學力を有[illegible]第一義的に銓衡す
四、採用人員 約四十名
五、採用決定は電報をもつて通知す
六、第一次銓衡 九月廿五日
七、第二次銓衡 十月十日
△待遇及び訓練
一、採用決定者には槪ね十一月一日より約二ケ月新京に集合せしめて教育を施す
二、教育方法は別にこれを定むるも主として軍事訓練、協和會運動、語學に重點を置くものとす
三、教育終了後は各地訓練所に派遣す
四、待遇は教育期間中、訓練中は訓練手當を支給し一月一日をもつて正式採用として月給を給す

北支事務局に 運輸、建設事務所開設

【奉天國通】滿鐵では北支における諸般業務の擴大に備へて天津に北支事務局を設置、業務全般の綜合統制を行ふことゝなつたが、時局の進展とゝもに增大し來つた鐵道業務現場監督機關として同事務局管下に運輸、建設事務所を開設するに決定、一兩日中に內命が發せられる運びとなつた鐵道總局運轉課長

秋晴れの馬場に 興味愈よ高潮

甲斐（啓）騎手規則違反て失格 秋季第二次競馬（第三日目）

新京競馬秋季第二次第三日目は秋晴れの絶好日和に惠まれ馬場のコンデシヨンもよく土曜日に珍らしい超滿員狀態に頗る熱戰を展開した、當日の番狂せは案外少なかつたが、第七競馬に於て勝駒（落合）五十五圓三十錢の穴を出し、第九競馬に新京北斗（高尾）七十一圓、第十二競馬に滿洲鶴（久保田）五十一圓二十錢の穴が飛び出すなど、前半同格馬レースの興味を與へた、尙第十一競馬に二着に入つた新常陸、騎手甲斐啓君が決勝線到着後馬場取締の命令を受けずに下馬したる爲競馬規程第十六條の違反となり、失格して三着の辨天が二着に、四着の瀧が三着となつた、甲斐騎手はこれが爲當季本會の殘餘期間を馬場使用禁止、騎乘停止處分に附されたが、同騎手は秋季第一次より騎手免狀を得て初めて騎乘せる少年騎手で經驗に乏しきため、錯覺の然らしむるところであると競馬ファンより痛く同情されてゐる、當日の入場人員は二千三十五名、搖彩票一萬四千百四十圓、馬券賣上高七萬九百五十五圓であつた

出馬及び勝馬豫想

▲第一レースは趙鵬程昨日の成績に不安はあるがこゝでは一着と思はれる
▲第三レースの二〇〇〇米では玉飛の一着は本命と思ふが、差脚に一沫の憂ひがある、公月邊りの單もまんざら棄てたものでもあるまい
▲第五レースの古抽障碍では北疆と惠六の一着爭ひであるが、何しろ惠六重量苦時代に入つてゐるから、北疆を負かすには相當の力がゐる樣に思ふ
▲第六レースの[illegible]鯉瀧の一は先づ穩當な見方であるが、二着を狙ふ哈克登、公主嶺菊姬がゐるが、雲祥もポツポツ馬場馴れして來てゐるから複の穴として油斷はなるまい、特に注意を要する
▲第七レースで春第一次で優勝した丹友が久し振りの登場である、故障もやゝ恢復してゐるようであるから油斷は出來ぬがこゝでは新初音の一着が豫想される
▲第八レース一、八〇〇米の短距離であるから陸王の一は大體に於て本命と見るが、鳥渡が順調な騎乘を見せてくれゝば陸王に鼻一つ位の勝で一着も豫想される、注意馬として、今季初特に顏の金大英がゐる、この勝負は相當熟戰を期待出來よう
▲第九レースは今季不出來の榮冠を握るものは海星ではあるまいか、然し短距離としては定評ある普飛雲、初瀨等も無氣味な餘裕を見せてゐるから最も注意される
▲第十レースは若馬である割合二日目のきく睦月の一は面白い見當ではあるまいか、對抗馬としては矢張り千代駒、新旭何れも力量から見て穴馬として侮り難い
▲第十一レースで公星の一は冒險な豫想である、金箔の二日追ひに今迄の記錄として香しくない點があるから單勝を狙ふにはどうかと思ふ、注意を要するは幸成の力量である、昨日の追込みが持つて來られる、次に一灑、南方、新常陸の爭奪ひとなるが近時新京豆の躍進凄く案外打棄つて二着位に追込まれるのではなからうか
▲第十三レースの最終競馬は第二春花、早姬の喧嘩が見物である、方變に上手な櫻川の活躍も相當期待出來る單勝、さては複勝こゝらが競馬ファンの投票工作に技術を要するのではなからうか

▲第一秋抽方變二、〇〇〇米
一 第三羽衣 五八 淸水
二 趙鵬程 五五 甲斐均
三 弘洋 五八 梶原
四 榮隆 五五 谷尾
一着 穴

▲第二抽古二、二〇〇米
一 舞姬 六三 新原
二 公武 六六 脇山
三 一走 六九 吉滿
四 朝日櫻 六三 田中
一着 穴

▲第三秋抽二千米
一 紅燕 五六 甲斐均
二 公月 五八 脇山
三 越 五八 內田
二着 穴

一着
四 玉飛 五三 谷尾
五 甲子 五七 田中

▲第四抽古二、〇〇〇米
一 新響 六三 甲斐均
二 赤穗 六〇 內田
三 公山 六二 落合
四 八万 六三 久保田
一着 穴

▲第五抽古障碍二、四〇〇米
一 惠六 六五 新原
二 金華 六一 谷尾
三 北疆 六〇 高尾
穴 一着

▲第六新古外馬二、〇〇〇米
一 旭洋 七〇 上原口
二 哈克登 五二 吉滿
三 鯉瀧 五四 脇山
四 新長 六一 松本
五 公主嶺菊姬 五三 久保田
六 雲祥 五三 谷尾
一着 二着 穴

▲第七抽古二、〇〇〇米
一 丹友 六四 內田
二 新初音 五六 吉滿
三 一貫 六四 前田
一着

▲第八秋抽一、八〇〇米
一 大岩 五七 松本
二 新福 五六 上原口
三 英生 五六 內田
四 鳥渡 五四 久保田
五 新朝風 五八 田中
六 金大英 五五 前田
七 九天 五七 脇山
八 菊香 五三 于連魁
九 陸王 五三 谷尾
一〇 勇力 五四 久保
三着 二着 穴 一着

▲第九新古外馬一、八〇〇米
一 海星 六二 新原
二 芙貴 七八 高尾
三 一天 六五 脇山
四 新千鳥 五七 久保
五 普飛雲 六三 久保田
六 初瀨 五七 田中
七 金勇 八一 甲斐均
一着 二着

▲第十抽古一、八〇〇米
一 公流 五九 落合
二 新旭 六〇 久保田
三 千里駒 五六 梶原
四 三初 六七 有吉
五 流線美 五七 于連魁
六 菊勇 六九 內田
七 生花 六一 久保
八 睦月 五四 上原口
九 第二矢風 五五 淸永
一〇 千代駒 六六 松本
一一 北驅 五一 新原
一二 夕風 五七 脇山
穴 三着 一着 二着

▲第十一抽古二、〇〇〇米
一 黑墨 六四 上原口
二 幸成 六二 高尾
三 公富 五六 落合
四 金來 五六 于連魁
五 眞力 五五 前田
六 幸天 六五 谷尾
七 常陸 六五 田中
八 大渡 五八 甲斐均
九 公星 五九 梶原
一〇 秀輝 六〇 脇山
一一 松影 六五 松本
一二 金箔 五五 吉滿
一三 英新 六〇 有吉
三着 穴 一着 二着

▲第十二秋抽一、八〇〇米
一 八洲滿 五三 前田
二 玉浪 五六 內田
三 舞駒 五六 新京
四 新常陸 五一 久保田
五 辨天 五五 吉滿
六 南方 五五 脇山
七 新京豆 五五 上原口
八 灑 五五 高尾
九 新軍 五五 松本
一〇 錦上花 五一 于連魁
一一 丹川 五六 谷尾
三着 穴 二着 一着

▲第十三抽古方變三、〇〇〇米
一 第二春花 六四 新原
二 玉吹雪 五九 谷尾
三 櫻川 六〇 田中
四 蓼 六一 久保
五 早姬 六一 吉滿
六 快快 六六 淸水
一着 穴 二着

家畜愛護ポスター 畜産局募集

畜産局では家畜愛護思想の普及を圖るため家畜の愛護を象徵するポスターを廣く全國より募集することゝなつた

一、馬、牛、綿羊等の家畜愛護を象徵するもので「産業部畜産局」の文字を挿入すること
二、全紙の四分一、約五五糎—八〇糎
三、色彩 制限なし
四、締切 十月三十日
五、賞金 一等二百圓、二等五十圓、三等二十圓、佳作（五名）十圓宛

關東州置籍船 外國船舶 沿岸就航許可

【東京國通】遞信省では時局による船舶需要增加に鑑み關東州置籍船ならびに外國船舶の沿岸航路就航を許可したがその結果廿六日現在まで許可されたものは二十數隻十萬噸で、その內純外國船は五隻である、なほ現狀から推測すれば許可されるものは三十萬噸に達するものとみられる

應召軍人の子弟に 學用品を支給

文部省のヒット

【東京國通】文部省では從來五十萬圓の就學獎勵費によつて全國約五十萬人の貧困兒童に對して學用品その他の給與をしてゐたが今回の事變により應召軍人家族の子弟で窮乏してゐる者に對しては更に溫かい手をさしのべて、後顧の憂なからしめる必要ありとしてこれ等子弟に對する學用品および運動、被服費等全額を負擔就學にさしつかへなきやうにするため、一人當り六圓から七圓位の費用を見積り約四十萬圓を要求し、來る臨時議會に提出すべく目下大藏省と折衝中で、その實現に力瘤を入れてゐる

三日目成績

△第一競馬（二、二〇〇米、三頭）1金英（二分五九秒二）2一天3海星、配當—單一一圓八〇、搖彩1三四圓一〇、等外四圓二〇
△第二競馬（二、六〇〇米、四頭）1奉天豐姬（四分五秒二）2北疆3金華、配當—單七圓一〇、搖彩1六一圓八〇、等外五圓一〇〇
△第三競馬（二、二〇〇米、七頭）1吉功（三分一六秒二）2一走3公山、配當—單九圓五〇、複1六圓二〇2九圓、搖彩1一三八圓二〇2三四圓五〇、等外八圓六〇
△第四競馬（二、二〇〇米、五頭）1金嵐（三分二〇秒一）2公月3甲子、配當—單五圓、複1四圓九〇2六圓二〇、搖彩1一八一圓七〇2四五圓四〇、等外一八圓九〇
△第五競馬（二、二〇〇米、四頭）1美光（三分）2鯉瀧3公主嶺菊姬、配當—單五圓七〇、搖彩1一七七圓、等外一一圓七〇
△第六競馬（二、二〇〇米、五頭）1東功（三分一四秒一）2玉飛3越、配當—單八圓四〇、複1一五圓五〇2六圓三〇、搖彩1一二六圓二〇2六六圓五〇、等外二七圓七〇
△第七競馬（二、〇〇〇米、九頭）1勝駒（二分四八秒二）2赤穗3舞姬、配當—單五五圓三〇、[illegible]
△第八競馬（二、〇〇〇米、十二頭）1泉山（二分五四秒三）2鳥渡3大岩、配當—單一九圓八〇、[illegible]
△第九競馬（一、八〇〇米、十一頭）1新京北斗（二分二九秒三）2菊勇3千代駒、配當—單七一圓、[illegible]
△第十競馬（二、〇〇〇米、六頭）1銀嶺（二分三九秒四）2金勇3初瀨、配當—單一五圓八〇、[illegible]
△第十一競馬（一、八〇〇米、十二頭）1濱千鳥（二分四五秒二）2辨天3瀧、配當—單一一圓九〇、[illegible]
△第十二競馬（二、〇〇〇米、十五頭）1滿洲鶴（二分五一秒三）2[illegible]3公流、配當—單五一圓二〇、[illegible]
△第十三競馬（二、四〇〇米、五頭）1若駒（三分四一秒二）2快快[illegible]

日米競技滿洲國代表 昨夜出發

滿洲國競技界を代表して日本の日米交驩競技大會に參加する于希渭、トルピン、アンフニダノフ三氏は田中體育聯盟主事に引率されて二十八日午後九時五十分の列車で關係者多數の見送りをうけて出發した

新京金融組合 新築へ移轉

市內日本橋通りの新京金融組合では同所北手に事務所新築中のところ竣工したので來る三十日移轉營業する

天氣と氣溫

けふの天氣 南の風晴れ
日の出 前五時五七分
日の入 後七時二一分
月の出 後十一時二九分
月の入 前二時〇五分
きのふの氣溫 最高 二三度二 最低 九度九

家庭

感情の興奮沈靜に風呂は全くよい

溫度や時間はお氣に召す儘　夜の安眠も充分！（四）

日常の公私生活から受けるいろ／＼な鬱氣や忿怨の感情も少し規則的に風呂を利用することに依つて鎭靜されて平常に復すると云ふことは、現に精神病患者に應用されて非常に好成績を擧げてゐます。ではどう云ふ働きによつてさうなるか？と云ふこととその方法とをご紹介しませう。

二つの入浴法

焦躁の感じや、外部へ出せぬ鬱氣、忿怨、やり場のない一時的感情の興奮などを鎭める爲めには極く簡單な二種類が考へられます。

その第一は攝氏の卅六度乃至は八度といふ體溫又は體溫以下のぬるま湯に少くとも三十分以上二時間までといふ長時間出たり這入つたりは勝手ですが、兎も角つかつてゐることです。その場合水でも湯でもぬれた手拭を頭上に戴いてゐることで、それに依つて首から上と下の體溫の調節をはかり、逆上と卒倒とを防ぐわけです。

他の一つの方法は溫度を同じく卅八度乃至九度に保ち、ぬれた手拭を頭上にして約三十分間位出たり這入つたりするのです。そして後で三分位水浴をするか、または冷水で身體をふくかしてこの場合に限つて一時間位は床につくことです。

なぜ鎭靜する？

では以上の簡單な二つの方法によつて體內的の機能がどう云ふ風に作用するかと申しますと

一、直接的にはまづ一定の溫度が皮膚を刺戟することから溫覺神經に作用してその快感が腦の中樞に傳はるのです。第二の短時間でする場合は殊に溫覺のあとへ冷覺が來ることに依つてその交錯が溫覺神經にひゞきます。

二、からだ全體の溫度が調節されて、而も一定の溫浴をする關係から、外表の血管が膨脹して血行をよくし腦の留血を圓滑ならしめもします。

三、身體中の血のめぐりが調節されて來ると、ホルモンの偏局的放出が盛んで、その分泌狀況が感情を平靜にするやうに調整されて來ます。

四、以上の三つの働きは更に精神的に交感神經に作用して一、二時間も經た頃間腦といつて感情の支配の土台ともなる腦の一部に快感を傳へ、間接的にも影響を來すのです。

かくて身體の新陳代謝をよくすれば、夜の睡眠も充分にとれてこれだけでも感情は平靜に歸するものです。

お魚の上手な貯へ方

味も大丈夫

△……朝買つた魚を晚まで味の變らぬやうに貯へたいとか殘つた魚を翌日までおきたいとか、その程度の貯へ方は日々のお台所に必要なものですちよつとしたことですが、台所にとつては大切な心得です魚にも、保ちのいゝ魚と惡い魚があります。それを知つて扱へば、一そう理想的です。保ちのいゝ魚では鮪が一等でせう。鮪を普通しびといふのは四十日（四十日）保つからだなどゝ俗に申します。まさか四十日は保ちませんが、身を卸しさへしなければ、そのまゝおいても、かなり保ちます食通は、少し日が經つてつたといふやうなものを喜ぶくらゐです。保ちの惡い魚では鯖の樣に一體に靑い色の小魚に保ちがよくありません。

△……身のしまつた白身の魚鰤や鰹のやうな大きな魚は保ちがよいのです。但し、どんな保ちのいゝ魚でも、切身や刺身に作つてしまつては、永保ちはしません。すぐ料理しないものは、腸を出しておきます。夏季冷藏庫があれば安全確實ですが、この場合刺身などにし食膳に出したら、あまり時間をおかない方がよろしい。冷藏庫のない場合にはバケツに半分ほど水を入れ目笊のやうなものを伏せ、（笊の底が水につかぬ程度に）その上に魚をのせた皿をおきバケツの上を濡布巾で被ひ、更にそのバケツごと、それより一周り大きいバケツか桶に入れ、布巾はいつもその端が水に浸つてゐるやうにして、涼しいところにおきます。かうすると、夏季でも、半日くらゐは大丈夫貯へられます。

△……この場合水のかゝらぬ樣に注意する事が大切、刺身にする魚は鯛とか、スズキとかの一尾のまゝでしたら、以上の方法で貯へ、召上る間にお作りになればいゝのでーが卸し魚にしたものでしたら、直接魚に鹽を當てないで、まづお皿に鹽をふり、半紙を一枚おいて魚をのせ、また紙を被せて鹽をふるのです。からして涼しいところに貯へておけば、夏でも、朝買つて晚まで大丈夫です。但し、刺身に作つてからではいけません。同じ刺身にするにも、赤身の魚でしたら、砂糖を極く少しふつておくとよろしいです、砂糖は魚毒を消すと共に、防腐劑ともなり、甘味を添へて美味しくなります。

乳兒の育て方……　赤ちやんの手當

產婆　山口孝子（五）

人工榮養兒の硬性便

人工榮養の場合によくあるころころした便です。別に惡い便ではありませんが便秘して困るものです。お乳の調理のよくない場合に起ることが多いのです。

消化不良便

半熟の炒り玉子の樣にぶつぶつの混つた便で、脂肪や蛋白質が消化しきれないで出るのです。すつぱい臭が強く、ひどくなると粘液が混ります。

綠便

綠便が出ましても、母乳の場合なら乳兒の健康に變りがなければ大抵心配はありませんが、顆粒便が混つて厭な臭氣のあるときは注意しなければなりません。

粘液血便

粘液と血の混つた便で腸の異狀の爲に、ひどい下痢が起ります。速に醫治を乞はなければなりません。

人工榮養の方は勿論、母乳榮養であつても、赤ちやんの便には常に注意し、回數が俄に增したり、水分が多くなつたり、色が靑くなつたり、又二日も便通のない樣な場合は、體のどこかに異常があるか又は榮養方法に足らぬ所があるものと考へなければなりません。

體溫

赤ちやんの體溫は成人よりも高く卅六・五度乃至三十七度一二分で平均卅七度位です。卅七度二三分あつても熱があると思はないでよろしいのですが三十七度五分ある場合は沐浴は見合せておきました方が安全です。三十六度五分以下の時は少し低すぎると思はなければなりません。

生れてまもない赤ちやんの皮膚は、體溫調節機能が不完全の爲めに體溫の變動甚しいものですから、寒いときは室溫に注意し又湯タンポによつて平均體溫を保つ樣務めなければなりません。

外出

赤ちやんを外に連れ出すことはあまり早くしてはいけません。生後三十日間はやむを得ない場合の他は外出させないことにしたいものです。その後でもなるべく寒すぎず暑すぎない時を撰ぶべきで夜間の外出はいけませんお宮詣りも寒い時は延した方がよろしいと思ひます。

生後二ヶ月になりましたら春や秋のおだやかな日、夏の朝夕等は少しづゝ連れ出して新鮮な空氣を吸はせ日光に當てる樣にします。

生後四ヶ月位からは餘程寒くない限りは戶外に連れ出し皮膚を丈夫にし抵抗力を養ふ樣にしなければなりません。

小さい赤ちやんは人込みの場所には絕對に連れて行かぬことです。惡い空氣の影響は大人が考へ及ばない程赤ちやんには强く受けるものです。

日光浴

日光浴は赤ちやんの健康上大變よいことでありますが、やり樣によつては害となることがありますから周到な注意の下に行はなければなりません。日光浴は生後三、四ヶ月頃から初めてよろしいのです。眞夏の太陽の直射は强すぎますが暖かい日を撰び、ベランダ等でお蒲團の上でさせます。やり方は初め足先を一分間、それを四、五日續けて次に足先を二分間、膝下を一分間と云ふ樣に四、五日宛續けて段々日光に曝す部分を多くして最後に全裸にします。氣永に段々訓らして行くことが大切で急ぐと失敗します。

健康相談

弱い子は勿論健康な子供でも時々小兒科の醫師に連れて行つて、よく診察して貰つた上、發育のよし惡しや其他いろいろな育兒上の疑問について直接に相談なさることは非常に必要なことであります

ラヂオ　けふの番組

〔新京放送局 MTCY〕廿九日（日曜日）

××朝××

六、二五　ニュース（東京）
六、三〇　ラヂオ體操、入港船のお知らせ（大連）
八、〇〇　氣象通報、朝の音樂（大連）
九、三〇　子供の時間（東京）うたのおけいこ
一、蛙の子ども　柴田秀子
上田實作詞
室町琴月作曲
二、金魚の電話
田部陸夫作詞
森義八郎作曲
アナウンサー　宮岡（朝）上森（晝）佐藤（夜）
一〇、〇〇　日曜勤行（東京）京都眞言宗泉涌寺派大本山泉涌寺舍利殿より
一、日支事變殉職將兵並遭難者追悼法要
大僧正　棕本龍海
一〇、四〇　講演（東京）南京附近の戰鬪風景

××晝××

一一、一〇　經濟市況（東京）
一一、二〇　趣味講演（東京）英雄と銘刀　秋元永太郎
一一、五九　時報（東京）
〇、三〇　ニュース（東京、新京）
一、〇〇　社會見學（大連）
＝全日滿放送＝大連甘井子埠頭＝甘井子埠頭より中繼＝
甘井子埠頭長　高木彌一
アナウンサー　平島安雄
一、二〇　女流演藝の午後（東京）
二、〇〇　トーキー中繼
＝豐樂劇場より中繼＝
樂園の合唱（東寶映畫）
岡讓二
高田稔
榎本健一
古川綠波
外大勢
三、〇〇　日米對抗陸上競技實況＝神宮競技場より中繼＝（定時放送優先）

××夜××

四、〇〇　ニュース（東京、新京）
六、三〇　子供の時間（東京）童話リレー
七、〇〇　ニュース（東京）
ニュース、告知事項（新京）
番組豫告
七、三〇　國民歌謠（大阪）
＝大阪朝日會館より中繼＝
國旗揭揚の歌　外七曲
獨唱　水野康孝　外七名
伴奏　大阪ラヂオ・オーケストラ
指揮　福喜多鎭夫
八、〇〇　演劇三夜（第二夜）（東京）
舞台劇
二條城の淸正
吉田絃二郎作
中村吉右衛門
中村時藏
中村もしほ
大谷友右衛門
外大勢

九、一〇　ピアノ獨奏（東京）
ベートーヴェン　三十二の變奏曲ハ短調　外二曲
宅孝二
九、三〇　時報、ニュース（東京）
ニュース、告知事項（新京）
氣象通報、番組豫告（新京）
一〇、一〇　ニュース再放送
一〇、三〇　北南の時間（哈爾濱）
一一、〇〇　謠語の時間

演劇連夜三題　二條城の淸正

吉右衛門十八番の淸正劇

第二夜　舞台劇

〔後八時・東京〕

加藤淸正の忠誠を仕組んだ狂言には古來「八陣守護城」「地震加藤」「淸正誠忠錄」等がある。現代の淸正役者として定評のあるのは何といつても吉右衛門でその柄、調子、氣魄、至誠の人淸正を髣髴させてあまりある。その吉右衛門が其淸正劇に更にその獨自の新境地を開いたものに蔚山城の淸正、熊本城の淸正、二條城の淸正の三つがある。何れも吉田絃二郎氏の作にかゝり、作者の人生に對する純情と人間味とは書下し當時より吉右衛門の名演技を生かして渾然たるものがあつた。殊に今晚放送する二條城の淸正は昭和八年十月東京劇場に於て上演されたもので、二條城で家康と相對して毅然として屈せざる淸正、淀川の御座船で秀賴公を愛撫しつつ泣く淸正その崇高な姿聽取者諸君を魅しさらなければ置かないであらう。

淀の水が……

低きに流れるがやうに、天下の大勢は、日を追ふて德川方に有利となつて行つた。それに逆ふ勢力は、秀吉公が遺したまだ幼い秀賴と、それを取り卷く僅かな人々とだけであつたが、その人々も、傾きかかつた豐臣家の今日では、兎角德川方に靡き、靡かないまでも、消極的にしろ大御所の勢力範圍に呑まれて行くのであつた。例へば福島正則であるが大御所が、秀賴を京の二條城に招待した折は、正則は之に隨行しようとはしなかつた。それは、秀賴を、招待にかこつけて二條城でなきものにせんとの德川方の謀謀を、正則は感知して、之に卷き込まれることを恐ろしとしたからのことであつた。そんな、過ぎし頃、秀吉公より下された大恩を、今にして忘れ果てたがやうな人の樣を、悲憤し慷慨する忠臣も、今では極く限られた數にはなつて行つたけれど、それでも豐臣方にはまだ加藤淸正の如き家臣があつた秀賴が二條城に招待された日隨伴した淸正の懷中には匕首が秘められてゐた。それは、去んぬる年、賤ヶ嶽で秀吉が功賞としてくれたものであつた。その匕首を

秀賴公の

生命をねらふ德川方の攻擊の凡ゆる瞬間に、淸正は役立てようとしたのであつた。か二條城の招待も、腹黑い大御所の皮肉ともとれぬことのないこんな言葉をもつて、事無くすんだのである「聞きしに勝る秀賴が器量、豐臣の天下も萬々代ぢやのう」そんな大御所に對して淸正が發する攻擊の言葉も、痛快なものが、また無くはなかつた。それは、德川方の今度の招待のお返しとして今度は家康の方から是非大阪城を訪れてくれとの淸正の申入れを、家康が、下心あつてか無くてか、表面心よく、その中是非訪れると答へたのに對し、ヂッとその言葉の眞意を考へた後に、淸正が發した次の言葉である。

「その時こそ、淸正、おんもてなしいたしまするハヽヽヽヽ」

二條城で

の招待が事なくすんで間もなく、秀賴と淸正は、淀川下りに大阪へと歸つて行つたが、その御座船上で、秀賴は淸正の盡忠を心から謝し、それを恭けなしとする淸正は、過ぎし頃の豐臣家の優勢を思ひ、秀吉公よりの大恩を思ひ、移り變つた豐臣の今日の姿を思ひ、男泣きに心の底から泣くのであつた

後二・〇〇　「樂園の合唱」

豐劇よりトーキー中繼

（寫眞は映畫の一シーン）

◇……伊藤淸正君はスポーツマンで、唯一の事を除いては何の缺點もない善良な青年である。その唯一の缺點の爲めに親父は死ぎわに淸正の叔父へ風變りな遺言をした。それと言ふのも淸正君が生來の女嫌ひからである。それで叔父さんは遺言第二條に從つて、「淸正に速かに結婚させる事」が依賴された時には思案に餘つた。がこの叔父さんには同じく遺言に、若し淸正を結婚させたら遺産の半分を取得する事が出來ると言ふ條項がある爲めに、斷然奮ひたつたそして豫て思を寄せてゐた酒場のマダムを相談相手に賴んだのである。マダムは叔父さんから遺産の額が百萬圓程だらうと聞いて大いに喜び、若し半分の五十萬圓貰へるなら結婚しても良いと直ちに協力を約束した。

◇……と又一人、淸正君の結婚を早くさせる協力者が登場した。それは酒場のマダムの用心棒で大男の小田君なのだ－第一に、これは叔父さんの知人で實業家靜岡剛太郎氏の令孃靜子さんと淸正君を見合ひさせた。が生花とお琴に堪能な美人令孃も勿論淸正君の氣に入る譯はなかつた。次は、小田用心棒君の推薦による某華族の令孃であつたがこの令孃には健三君と言ふ戀人があつて、最初から小田君のインチキ見合なので纏る筈はなかつた。百萬圓の遺産をめぐつて三人の人達は淸正君の二度目の見合ひの失敗について色々研究した結果、「どうも淸正君は女の魅力を感じないからだ」と意見が一致した。

學藝

秋の影を引く男（三）

右田卓一

それから四五日たつ日曜日の晝齋藤が尋ねて來た。私は始めて金の取れる仕事をするので興味を持つて仕事をしてゐた。齋藤は私の出來上つたたけの原稿を受取り、街に出掛けませんかと言つた。

「さあ」

「ゆつくりお話もしたいのですが」

私達は出掛けた。彼は私を人なつつこく感じてゐるらしかつた。それは私が彼の心を私の中に入れることを許した私の心の弱さであることが分つたが、一度其處に喰ひ入られるともう私は如何も出來ずする／＼とついて行くのである。

十月の中旬であつた。何か靜かな秋の空氣が地上にじつと被ひかぶさつてゐた。もう風景は凋落を隱さうとしても出來なかつた。昨日の雨に畠の土が黑くしめり、道路計畫の後にぽつん／＼家が立ち、その中にはまだ藁葺の農家も混つてゐる有様であつた。私はさう言ふ風景を此の齋藤にふさはしいものに思ひ乍ら郊外電車の驛まで歩いて行つた。蒲田に出るには二驛ばかり乘らねばならないのである。

「學生時代はいゝものですなあ！」と突然齋藤が言つた

「如何してですつて？僕はちつとも良いと思ひませんね」

私はいくらか私の氣持を入れて憂鬱に言つたのである。

「いや確かに良かつた！」と齋藤は言つた。「そうですよ。私は醫者になるはずでした。然し私は慶應の豫科の試驗準備中病氣になり一足先に慶應病院に『入學』しちまいました。（此處でこの男はすこし笑ひ顔をした）そして退院すると明治には入つたんです。今度は法科でしたその頃が一番樂しい時でした。其頃妻は丁度女子大學生で、私達二人は一緒に家を出掛けたものです」

—そして今奥さんは？」

—死にました。家の長男を産むと一緒に死んだのです。さうです、それから私の人生は駄目になりました。すつかり學校に行く氣もせず、と言つて運送業をやる氣もしません。さうです、帳簿をつけたり算盤をはじいたりすることはたへられません。退屈で意義がありません。—さうぢやありませんか？だから私は父が死ぬと一緒に店を永い店員にまかせて僕は郊外に引越して來たのです。そして浮世繪の研究に沒頭し始めたんですよ。ええ、繪は學生時代から好きでした、御覽の通りいくらか自分でもやりますからね」

「えゝ」と私は言つた。そして彼の家に所きらはず張つた山水畫を思ひ出した。

「ほら！」と急に彼は言つた。「日本美術大系と言ふ叢書があるでせう？あの中の浮世繪の解説は全部私が書いたものですよ。名前は出てゐませんがね」

「さうですか」

私達は驛に來たので切符を買ひ柵には入つた。程よく昨日の雨で濕つてゐる軌道の上を電車が音もなく近寄つて來て急にブレーキの音を立てて停つた。私達は乘込んで釣皮にぶら下つた。

蒲田の驛に着くと如何しても驛前のカフェーには入ると言ひ出した。別にゆつくり落着いて話する樣な處はないと言ふのである。

「あらいらつしやい今日はおつれさん？」と女給が言つた。それに依つて私は彼が此處の常連であることを知つた。大學生のSさんだと私を紹介しながらにやつと私の方に笑つた。すると又私は彼が此處では家庭に於けるやうに落着いてゐる姿を發見した。

私達は晝間の暗いボックスの中でビールを飲んだ。體が冷へて來るので私も無茶に飲み出した。

私達が其處を出たのはもう五時近い夕暮時であつた。私は強いて半分の勘定を拂ふとおやと言つて別れた。何と言ふ重苦しい混雜した夕暮時であらう。其の中を顏の半分に夕日を受け、足の下からは長い自分の影を引いて齋藤の後姿が歩いて行つた。混雜した小建築の並んだスカイ・ライン。少しも暗くない白影。その下の道を一杯歩いてゐた。私はぞつと寒くなつて叫んだ。

（—畜生！何と言ふ奴だ！）

すると私ははつと思つた。今別れた齋藤に言つた積りであつたのに、半分は私に言つてゐるのだ。（これはいけない！）

突然私には私の將來があの齋藤の樣になるのぢやないかと思はれて來た。確かにそうなるかも知れないのだ。本當にそうなる可能性がある。—すると今まで齋藤を輕蔑してゐた自信が根柢から崩れて來た。

（あついけない！あれが俺の姿だ。俺の姿だ！初めから全然笑はなさなかつたから俺が負けてしまつた）

私は兩方からぐつとせまつて來てゐる樣な蒲田の街を走り出した。

（あついけない！）

自分をなくした私の姿であつた。それが一生懸命何處かに走り出してゐた。

（一九三七、八、二四）

初秋

堀江信夫

青い空に浮く雲　綠の地平線、
サツと振る旗　空に鳴る鞭、
風を切つて流れる騎手　土煙、
陽を浴びて咲くパラソル　斷髪の姑娘たち、
スタンドを埋める頭の海、
空に散るテープ
あられもなく立上る彼女たち、
鐵傘をゆるがせる歡聲　なだれる足
頭の上にひろがる擴聲器
飛ぶ紙幣、
むなしく消えた數字　風に舞ふ紙片

秋と長屋のお神さん（二）

奥一

『うちの親つさんにしてもうんと金をもうけて歸つて來るちゆうて出たきり、もう半年もたつけど一ぺん二十圓送つて來たきりで、その後何の便りもあらへん、今では生きとんのやら死んどんのやら分れへん』

「けれど奥さんが、一人きりだし自分で稼いで食べて行くなんて結構な身分だけど、こつちはあんた子供は遠慮なしに出來て來るし、學校行の冬服の心配もしてやらなきやならないし、寒くなつたらバスにも乘せて通はせなきやならないし、宿六はグウダラで働きがないし、冬の着物は皆倉に入れてあるし、私なんかどうしたらいゝのか分りやしない、一層私も奥さんみたいに子供がなかつたら何とでもして働いて男の一人や二人食べさしてやるんだけど」

「うちの人」も「宿六」に轉落するともうお終ひである

『私なんども着物は皆んな流れてしまふし、茂子もどうやら一人前になつて家の助けになる思ふて喜んどつたら悪い男にひつかゝつてどこぞへ行てしまひよるし』

附添ひ夫人の一人娘茂子はまだ肩上げとれぬ小娘だつたが喫茶店の女給をしてゐる間に男をこしらへていつの間にか行方不明、親爺と娘に飛び出されたお神さんにしてみればグチるのも無理もない話で

『私しや一層一年中夏だと云ふブラジルとか云ふ所へ行きやよかつたと、いつも思ふんですよ、ストーブの心配も着物の心配もいりやしない』腹が減つたら野原へ行つてマンヂョカとか云ふ芋を掘つて來て食べりやいゝし、浴依一枚あれば一年中着られるし

『ほんまに彩票でも當らんことにや、どうにもなりまへんな』

『内地からも一ぺん歸つて來いと手紙が來るんですが、いつになつたら歸れる事やら彩票でも當らん事にや……』

、『彩票ちゆうたら、こないだ私の行つとるとこのお友達で滿洲國へ出とる人に三百圓當つてなあ、何でも一等と一番違ひやつたちゆうてこばしとつたが、そんな人に當らんでもえゝさかい、貧乏しとるこつちに當つてもろたらなあどない嬉しいか分れへん』

一等なんてゼイタクは云はない、三等でも五等でもいゝと思つて附添さんは毎月二枚、隣りのお神さんの方は發賣日になると行李の底から何か彼か一枚づゝ倉へ入れて一枚の彩票を腹帶の中へしまい込んで「この子の爲に、どうか二等でも三等でもいゝから」とお禱りをするのであるが、どうも福の神には緣が遠いらしく末字一回當つた事がないとはお氣の毒みたいである。

『家の宿六と云やあ、大家さんにはシースーホーライ、電氣屋が來たら十四日とことわるんだけど、いつも足を運ばせるだけでラチが開かないんですよ』

『母ちゃん、御飯』

家の中から子供の聲がした。

『おや／＼大分おしやべりして、雨も少し小降りになつたし、そいじゃ行て來まつさ、然しまあ毎日／＼誰の爲に苦勞をしとるんか分れしまへん』

附添婦のお神さんは傘もさゝずにチビた駒下駄を響かせて出かけて行くと、隣りのお神さんは大きなお腹をずり上げる樣に兩手でかゝへて奥へ大きなキン／＼聲でど鳴つた。

『あんた、何をまごまごしてるんですよ、雨がビシャ／＼降りやがるし、私しやお腹が大きいんですよ一體誰の爲にこんな大きなお腹して、貧乏して苦勞をするんだね早く起きて健坊に御飯食べさしてやりなさいよ、健坊學校遲れますよ。秋が來たんですよ。冬がもうじき來るんですよ』

×

星と、月と、空と、木の葉と、ロシヤ娘の瞳の色と……秋のサンチアンタル——それはこの春制服と一緒にどこかへ脱ぎ棄てゝ來ちやつた角の雜貨屋の娘つ子の貞操とか云ふものと共に「何のイミもナイ」と云ふ言葉と同意語かも知れない。

感傷の秋、稔りの秋、あゝこんな言葉は一層のこと、この長屋の家主である足の片一方短い滿人の家の豚にでも食はれてしまへ。（了）

「滿洲國在住者のための日記」

近代人に日記の必要性は今さら言を俟たぬところなるが、現在滿洲國内で販賣されてゐる日記は悉く日本製であるため使用に際して不便が多いので、滿洲國通信社では今次特に滿洲國人及び在滿日本人向の特輯日記を編纂することになつた

これは次に示す内容によつても明らかである通り日常極めて便利であるとゝもに使用者の滿洲國に對する理解を自然に昂めるものであり、一面滿洲國小辭典を兼ねたものとも言へる、すなはち種類は當用携帶用（上、並製の二種）に分れ、總べて日滿對譯であることを一大特長とし、新時憲書に準據した祝祭日陰陽暦が記入されてあるは勿論、建國宣言、回鑾訓民詔書、協和會精神及び綱領、中央地方行政機構、貿易産業人口等統計、郵政案内打電必須、防空心得印紙稅法、新制度量衡、節氣表、日歩年利對照表、復利計算その日の歴史、協和標語、反共標語及び疊込滿洲國行政交通地圖等の附錄が親切に添へられてゐる

學藝消息

・・・學術大會新京講演會・・・

第十三回日本學術大會新京特別講演會は廿七日午後三時半より新京西廣場滿鐵社員倶樂部において開催された、定刻前に續々とつめかける會員および一般聽講者は約二千人餘りで、階上も階下も立錐の餘地もなく大盛況であつたまづ東京帝國大學教授青木保氏の「最近の兵器」と題する實寫映畫による講演にはじまりついで東京帝大工學部長平賀讓氏の「軍艦設計と帝國艦艇の進歩」東北帝大總長本多光太郎氏の「普通鋼と特殊鋼」と時局柄意義深き成果を收めて午後六時半閉會したなほ廿八日午後七時卅分より新京放送局より放送講演を行つたが題目、講演者左の如し

一、「電路遮斷器の話」九州帝大總長荒川文六氏

一、「日本學術協會第十三回大會終了に當りて」日本學術協會長武部六藏氏

雜誌

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

△綠十字（二七號）森脇襄治「諸外國結核事業瞥見」遠藤繁清「冬の北滿旅行」箭頭正男「滿洲における健康保持上の注意事項」その他ニュース等（大連市外小平島保養院内、綠十字會（二錢）

△日滿女性（八月號）「色魔に弄ばれた私の半生」などの記事があつてこの雜誌少し方向を變つて來たやうである、城小碓つくる所の文藝欄のみ實質的な色彩を保つてゐる（大連若狹町四二、日滿女性社、三十錢）

味も涼しい乳酸菌滋强飲料
カルピス
カルピスに
含まれてゐる
乳酸は
胃腸を整へ
病菌を殺す
ばかりでなく
生理的に
體を涼しくする
作用を
持つてゐるのです！
生理的に
涼しくなる！
主成分
乳酸の他に、
ビタミン、カルシウム、
蛋白アミノ酸、葡萄糖
を含んでゐます
買ひよい50センビン

SAPPORO BEER
LAGER BEER

特務勤務の六邦人
共產匪團と奮戰
彈丸擊ち盡し敵中に斬込み
全員壯烈な戰死遂ぐ

東滿の華と散る

治安部發表＝治安部歩兵上尉法允盛孝、同大駒龜次郎、同少尉片桐良英、關東軍〇〇隊新妻英、滿洲國外務局宮崎滿年、滿洲航空會社員大橋正芳の一行は要務を帶びて行動中、八月二十七日午後一時頃密山縣老黑背東方附近に達するや共產匪約百と遭遇せり、一行は僅少なる掩護兵をもつてこの敵に對し勇猛果敢に奮戰力鬪遂に彈丸の盡くるところとなるや一行六名の勇士は一丸となりて群がる敵中に斬り込み阿修羅の如く奮鬪し敵匪多數を斬倒したが、如何せん衆寡敵せず全員壯烈なる戰死を遂げ東滿の華と散つた

各氏略歷

密山縣下で勇壯な戰死を遂げた法允氏等の略歷左の如し

法允盛孝氏(三〇)原籍鹿兒島市清林寺町十五番地出身建國前吉林鐵道守備隊敎官となり吉林省地區の治安肅正に功績を擧げ建國後大同二年一月滿洲國陸軍歩兵上尉に任ぜられ吉林省警備司令部附第二軍警區司令部附濱江地區警備司令部附を經て康德二年五月中央陸軍訓練處生、同三年十二月同處第一期甲種生(陸大相當)として共に首席をもつて卒業、同四年治安部調査課員となり今日に至る、全滿洲國軍にその名を謳はれ日系滿系軍官、兵の信望を集めてゐた人で、その戰死は痛く惜まれてゐる

大駒龜次郎氏(三三)東京市淺草區千束町出身、中央陸軍訓練處第一期生、大同二年三月陸軍歩兵中尉に任ぜられ、吉林省警備司令部附となり第二軍管區司令部附となり康德二年九月上尉に昇進、この間數次にわたる匪賊討伐に偉功を樹てた

片桐良英氏(二五)千葉縣出身、康德三年陸軍他兵少尉に任ぜられ同年第六軍管區に勤務した少壯軍官である

宮崎滿年氏(三一)東京市日本橋區馬喰町出身、昭和六年哈爾濱日露協會學校卒業直ちに滿洲里日本領事館囑託となり、大同二年十月外交部屬官現に外務局事務官であつた

新妻英氏は關東軍〇〇部隊屬として特殊任務に服してゐた人である

【寫眞上右法允上尉、左大駒上尉、中新妻英氏、下右宮崎滿年氏、左片桐良英氏】

故草場、千葉兩氏告別式

滿洲事件で殉職の故巡査部長草場敏夫(福岡縣出身)千葉貞吾(宮城縣出身)兩氏の遺骨は廿八日午後二時着『あじあ』で哈爾濱より到着直ちに長春寺に安置し大使館警務部によつて告別式が擧行されたが澤田參事官、山本一等書記官等關係者多數列席し盛大であつた

"立派な戰死がせめてもの慰め"
悲しみの中に宮崎氏嚴父語る

共匪百名に襲擊され一行六名と共に壯烈なる戰死を遂げ東滿の華と散つた滿洲國外務局亞細亞科勤務宮崎滿年氏の悲報を嚴父親町三丁目十七番地宮崎千年氏(五九)にもたらせば氏は悲嘆を奧齒にかみしめいさゝかの亂れも見せず語る

とうとう駄目でしたか、廿八日午後二時半外務局から匪襲を受けた旨の知らせがありまして今迄萬一にも生存の望みを托してゐましたが、自分の子の事をほめる事は心苦しいことですが滿年は子供の時から素直で學校もずーと首席で通し非常に親思ひの子でした、私には男二人女四人の子供がありますが長男の滿年には何一つ心配もなくまた力にもして來ました、滿年は素直な反面に生來勇敢な子でして昭和七年國境警察隊に勤務滿洲里にゐましたが、蘇炳文事件に際會し同年九月廿七日拉致され七十日目に脫出したことがありました再び外務局に入り危險地帶に出張致しますためこうしたことがなければと心配してゐました、今度國境方面に出發したのが六月廿七日そして匪襲を受けたのが八月廿七日で因緣とでも言ひますか廿七日はあの子にとつては餘程惡日であつたと思はれます、戰死の報はあきらめ難い悲しみであるが祖國生命線の礎石となつたことはせめてもの慰めであります

尙宮崎滿年氏には妻女靜枝さん(二五)と本年三月生れた

李鍵公殿下
寬城子戰跡御見學

李鍵公殿下には皇帝陛下と御歡談を終へさせられ、午後一時半宮內府御退出、寬城子戰 滿洲事變當時分隊長として寬城子戰鬪に參加した星憲兵少佐の御說明にてつぶさに御見

礎横に設けられたテントに入らせられ、陸大生一同と共に

た(寫眞は寬城子戰跡御見學の殿下)

國婦慰問隊
傷病兵のため舞踊會を開催

國防婦女會首都支部では治安平定のために傷病した白衣の勇士を慰問するため日鮮滿人慰問隊を組織し廿九日正午より新京陸軍病院を慰問することゝなつたが、一行は美しい草花、お菓子等を慰問品として贈呈するほか左のプログラムにより慰問舞踊を行ふ筈である

一、微々氣(羅玉文、菀押德壞他九名)二、鐘聲(魏增德孃他五名)＝大經路小學校)三、南の風、春の微笑(新京普通學校兒童六名)四、舞踊(お染)(篠原慶子孃)五、藤娘(佐藤和子孃)六、舞踊聚樂舞(井上和子孃)七、月の砂漠、アリラン(朝鮮人分會員)八、舞踊排聖芭蕉(藤間勘喜久師)

扇芳亭、同會館連中が傷病兵慰問

滿洲守備の大任を双肩に、廣北の擴野に活動するうち不幸病を得て身を病床に委ねてゐる二百余名の新京衛戍病院傷病兵は全支に擴大される支那事變の推移に想ひを馳せてゐるが、之等傷病兵を慰め一日もその全快の早からんことを祈つて扇芳亭、及び扇芳會館では廿九日午前十時より荒木糸子、小美、須美鮎子笑奴、てる蝶、大畑富美子宇女龍、笑丸、お妻、平塚美智子、近藤梅子、藤島八百吉、江川洋子、玉子、木市市郎、一光それにレコード舞踊の秀次さん等の綺麗どころが獨唱、新舞踊、詩吟筑前琵琶に出演して慰問會を開くが病院側ではこの美擧に感激してゐる

進行中の列車と通話
鐵道總局で試驗
世界最初の無電裝置計畫

鐵道總局鐵道研究所では劃期的試みとして進行中の列車相互間及びオフィス、家庭との間に自由に通話出來るやう、旅客列車に無線電話を設置する事となり、かねてより種々研究を進めてゐたが、いよいよ右研究も一段落を告げるに至つたので來る九月初旬旅順―大連間において第一回の試驗を行ふ事となつた、右の結果は旅客列車內に短、中波無線電話裝置を据ゑつけ進行中と雖も近距離、遠距離を問はず極めて自由に通話出來るものである、右實現の曉は旅客に多大の利便を與へるは勿論鐵道警備、事故防止の完璧を期する上に大いに役立つものとして各方面から期待されてゐる、なほ右裝置は目下日本及びドイツにおいて試驗中であるが、いづれも列車と家庭間のみで列車相互間の通話計畫は世界最初の試みである

軟式野球新京豫選 けふ決勝戰

滿洲軟式野球聯盟主催の全滿軟式野球大會新京豫選は四十七チームに依つてトーナメント式に試合が進められて居たが愈よ中銀とSKクラブが勝ち殘り廿九日午後二時より中銀球場に於て決勝戰が行はれる、なほ大連、奉天、哈爾濱新京の豫選に優勝した四チームによつて來る九月五日新京に於て盛大な全滿大會が擧行される

不在中盜れる

特別市西五馬路益田洋服店益田五郎氏は去る二十七日午後六時より七時の間に於て家人不在中現金九十圓、洋服地ねずみ色三ヤールを竊取され領警署に届出たが被疑者は二ヶ月前同店の職人として傭はれてゐた支那人朱某の仕業と見られ目下搜査中である

西本願寺行事

◇日曜學校午前十時より ◇日曜講演午後二時より「精進の生活」光岡主任「施しと言ふ事」藤野布敎使

新京聖公會

(市內當士町四ノ十四)

八月二十九日 日曜學校 午前九時半 聖堂 早禱禮拜 同 十時半 同 晚禱禮拜 午後八時半 同 司式 說敎 久泉 牧師

少年團"夏の村"
けふから西公園で實施

新京日本少年團野營訓練"夏の村"は二十九日から三十一日まで三日間新京西公園內海軍忠魂碑前廣場で開かれる、參加團員は全員約二百五十名で期間中の日課は

△午前六時起床炊事及び天幕內外の作業開始△午前七時朝食△七時半點檢講評終つて國旗揭揚皇居遙拜△七時四十分參校準備△午後四時までに歸營作業訓練開始△午後五時夕食用意國旗降納△午後六時夕食△六時三十分作業訓練營火△九時就寢用意△九時半消燈

等で天幕は約二十張りの豫定である

中學校水泳大會

新京中學校の水泳大會は二十八日午後二時から絕好の天候に惠まれて盛大に催された、赤、白、綠、紫の各班に陣取つた生徒はスタンドを埋め乙組五十メートル背泳を皮切りに甲組百メートル自由型と競泳は開始され、第六回目の乙組、百メートル平泳では一着太平君(紫)が一分三十五秒二着河野君(赤)が一分三十六秒で兩君とも同校レコード一分三十六秒を破つて新記錄を作り、甲組町田君(赤)は百メートル背泳で一分五十五秒の學校レコード引續いて甲組二百メートル平泳では尾崎君(紫)が三分五十二秒四のレコードを三分五十二秒一に短縮するなど續々と新記錄を出し二百メートルの先生チーム對一、二年生混成チームのリレーでは生徒が勝ち、乙組三百メートルメドレーリレーでは綠班(西村、大平、江口)が一着、甲組三百メートルメドレーリレーで赤班(町田、岩滿、滿出)が一着、大會は白熱化し乙組二百メートルリレーでは綠班(桑名、森野、上條、江口)が二分三十一秒四で九秒六を短縮した

最後に四百メートルリレーで赤班(町田、高濱、諏訪、滿田)が五分五十七秒五の新記錄び有終の美を飾り大會は四時終了

各班の得點は甲組赤三十點、綠十三點、紫二十點、白十四點、乙組綠二十九點、白二十一點、紫十六點、赤十四點【寫眞は甲組二百メートル平泳の決勝】

協和會宣傳科のナイル君、時々銀パレスに現はれる▼別に野心があるんぢやないですよ、賴んであるものがあつてネ、といふ▼何かといへば、それはさる眉目よき女の子に浴衣を縫へて貰ふ約束になつてゐるのだが夏の初めからの依賴が秋風吹く頃となつても未だに實現しないんださうで昨今些か焦燥の氣味にあるといふ▼もう今からは要らんでしやうといふに、いやこれからでもいゝです、え丶來年迄でも待ちますよ、とはまた仲々きつい御執心！

電業の打擊を封じ
6―3
滿洲國軍勝つ
獻金野球大會終る

獻金野球大會の最終滿洲國對電業戰は二十八日午後四時半より西公園球場に於て孫(球)大辻、小野(壘)三氏審判のもとに滿洲國の先攻で開始された、本大會を通じ二勝零敗の電業と一勝一敗の滿洲國との決戰、本年野球界の掉尾を飾るにふさはしい優勝戰が人氣を呼び觀衆續々詰めかけ一投一打每に擧る歡聲秋晴れの球場をゆるがすの盛況裡に滿洲國よく電業の打擊を封じ六對三で大勝した

スコアー

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
滿國	0	3	1	0	0	0	2	0	0	6
電業	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3

第一回(滿)横內捕邪飛、栗原三匍、二木四球、深瀨三匍▲(電業)針原投匍、杉田三匍、杉谷左飛(滿0―電0)

第二回(滿)佐々木左中間二壘打、永尾四球、古岩井三前バント三手の惡投に滿壘加藤三匍、佐々木本壘に封殺、木村投前バンド投失に永尾生還、横內遊匍、古岩井生還、加藤三進、木村二壘に封殺、栗原四球で滿壘二木四球、加藤生還、深瀨遊匍二木二壘に封殺▲(電業)梅本二飛、江藤投手强襲直球投手はじいた球を三手一壘に送球、黑明一匍(滿3―電0)

第三回(滿)佐々木遊越安打永尾三振、古岩井三前犧打佐々木二進、打者加藤の時補失に佐々木一擧生還、加藤四球、木村右飛、▲(電業)吉井、西川四球、緒方投前バンド、吉井三壘に封殺、針原打者の時緒方の捕手の牽制に一壘を追はれ西川三進三失に一擧生還、緒方三進、針原四球、杉田三匍、針原二盜を試み捕手二壘に送球したが間に合はず二壘に惡投緒方生還を試み二手この時緒方生還、針原三進、杉谷左中間二壘打、針原生還、梅本、江藤四球で滿壘、黑明の二匍で江藤二壘に封殺(滿1―電3)

第四回(滿)(この回より電業投手村井に代る)横內、栗原三振、二木投手强襲安打、深瀨二匍、二木二壘に封殺▲(電業)吉井右飛、村井三邪飛、緒方二越安打、針原右邪飛(滿0―電0)

第五回(滿)佐々木遊匍、永尾右翼右安打、古岩井左飛、加藤三振▲(電)杉田右飛、杉谷四球、梅本打者の時投手杉谷を一壘に牽制暴投し杉谷三進、梅本三匍、江藤遊匍(滿0―電0)

第六回(滿)木村代打高橋捕邪飛、横內四球、栗原右中間安打、横內三進、二木打者の時栗原二盜、二木死球で滿壘、深瀨の二匍で深瀨併殺▲(電業)(この回滿國右翼高橋と代る)黑明二匍、吉井二匍、村井投飛失、緒方中飛(滿0―電0)

第七回(滿)佐々木左前安打永尾二匍、佐々木二壘に封殺、古岩井遊匍、永尾二壘に封殺、古岩井二盜、加藤四球、高橋打者の時捕失で古岩井、加藤三、二進、高橋の二遊間安打で古岩井、加藤生還、高橋一擧二盜を試み二壘に刺さる▲(電業)針原二匍、杉田四球、杉谷遊匍、杉田二壘に封殺、梅本三匍(滿0―電0)

第八回(〇)横內二匍、栗原一飛、二木右飛▲(電)江藤、黑明三振、吉井三匍(滿0―電0)

第九回(滿)深瀨三匍、佐々木中飛、永尾一匍▲(電)村井二匍、緒方代打小池一匍、針原投匍(滿0―電0)

(閉戰六時十五分)

滿國	打數	得點	安打	犧打	盜壘	三振	四死	過失
4 横內	4	0	0	0	0	1	1	1
8 栗原	4	0	1	0	1	1	1	0
2 二木	2	0	1	0	0	0	3	0
3 深瀨	5	0	0	0	0	0	0	0
6 佐々木	5	1	3	0	0	0	0	2
1 永尾	4	1	1	0	0	1	1	0
7 古岩井	3	2	0	1	1	0	[illegible]	1
5 加藤	2	2	0	0	0	1	2	0
9 木村	2	0	0	0	0	0	0	0
代 高橋	2	0	1	0	0	0	0	0
計	33	6	7	1	2	4	8	4

電業						
7 針原	4	0	1	0	1	0
5 杉田	3	0	0	0	1	1
4 杉谷	3	1	0	0	1	0
3 松本	3	0	0	0	1	0
9 江藤	3	0	0	1	1	0
8 黑明	4	0	0	1	0	0
2 吉井	3	0	0	0	1	2
1 西川	0	0	0	0	1	1
1 村井	3	0	0	0	0	0
6 緒方	3	1	0	0	0	0
代 小地	1	0	0	0	0	0
計	30	2	1	2	7	4

二壘打―佐々木、杉谷 併殺―(二木―深瀨)

	勝	負
滿洲國	二	一
電業	二	一
新々俱	一	二

獻金野球收益 卅日獻納

銃後の赤誠獻金野球大會は去る二十二日より西公園球場に於て好評盛況裡に試合が進められ二十八日滿洲國對電業戰を最後として大會の幕を卸したが、收入金は三十日午後主催者、後援者立會の上計算して直ちに獻納の手續をとり獻金する、なほ本大會の成績は次の通り

國防皇軍慰恤獻金品(本社取扱)

一金八千四百四十八圓八十二錢
一慰問袋 五百三十七個
一千人針 九枚(關東軍司令部へ)(駐滿海軍部へ)
一金三百十圓
累計八千七百五十八圓八十二錢……八月二十七日迄の分……

▲二十八日受附百圓、百圓、四十圓計二百四十圓

義人長七郎

（禁上演映畫化）中川雨之助

竹枝一郎畫

（二十六）

仕掛の罠（一）

「さうですねえ……」
と、お銀は、足もとを視つめてケツと考へてゐましたが。
「何處か、その邊の料理屋へでもチヨツトお供して……」
と、まだお銀の言ひ畢らぬうちに、幸兵衛は、びつくりして。
「コレ〱〱何を申す。若君と心得ながら、チヨツト其邊の料理屋とは、なんたる無禮だ。その方、さいぜん、あの巾着切に向つて、チト向う先を見ろといつて意見をしてゐたやうだが、巾着切より、その方こそ、チト向う先を見て、物を申すがよいぞ、チエツ、馬鹿馬鹿しい」
と、口をとがらせ、プリ〱してゐます。
「幸兵衛怒るな〱……だが、料理屋はチト工合が悪いな……どうぢや、これから予の屋敷へ參らぬか」
「えゝお屋敷へ連れて行つて、頂けるのですか。まあ嬉しい」
お銀は、晴々しい笑顔になりました。
幸兵衛は、ます〱苦り切りましたが、しかし、料理屋よりは、屋敷の方が遙に安全です。ふせうぶせうに贊成いたしました。
それから間もなく、築地南小田原町、長七郎屋敷に伴はれたお銀は、長七郎にむかつて、何かヒソ〱話して歸りました。
いつたい、なんの話でせう？

× × × × × ×

川向うからチヨン〱と、夜廻りの拍子木の響きにまじつて、鷄の夜啼が聞えるかと思ふと、今度は物凄い犬の遠吠。まさに屋の棟も三寸下るといふ眞夜中です。
突、築地南小田原町、兩替商永樂屋の塀外へ忍び寄つた黒装束、目ばかり覗いた、三人組の曲者がありました。
それは彼の雨宮小十郎に、鳥居鐵太郎、平岡新九郎等の、あぶれ浪人で、いよ〱今夜、永樂屋の寢込を襲つて、娘お琴を引つさらひ、有り金を盗んで、江戸を高飛びしようとするのでした。
豫て家の様子は心得てゐるので、忍び込むには、何の雜作もありません。天水桶を屈竟の踏臺にして、銘々の肩を足場に、見越の松ケ枝に飛びついて順々に忍び込んだ三人は、ちやうど庭前の庭先で、泉水の流れの音のチヨロ〱と聞える外は、コトリといふ物音もいたしません。
築山から座敷へと、闇の中を四ツ這になつて忍び寄る三人の姿は、鶏小屋を窺ふ野良狐そつくりです。
中にも平岡新九郎は、チヨイチヨイ悪戯があるとみえ、萬事心得たもので、手洗鉢の水を敷居へ流し込み、小柄を抜いて、コツ〱やつて居たが、やがて雨戸一枚、首尾好く音も立てずにはづしてしまひました。
やがて、廊下傳ひに、三人は、だん〱奥へ進みました。
忍び込んだら、どうして、かうして、と手筈は、チヤンと極めてゐます。
先づ娘お琴の寢所を襲つて、有無を言はせず縛り下げ、それから主人幸兵衛の居間へ押込んで、金を出さねば娘の命を取つてしまふといつて脅かせば、千兩箱の一つぐらゐ手に入れるに雜作はあるまい。もし、その中に奉公人が目を覺したら、片つぱしから、叩き斬つてしまへといふのです。
廊下傳ひの奥まつた六疊が、お琴の寢所です。
その寢の前に、三人が忍び寄るまで、誰にも氣取られなかつたのです。